(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-100678
(P2004-100678A)
(43)公開日　平成16年4月2日(2004.4.2)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
F02C 3/067	F02C	3/067	
F02C 3/22	F02C	3/22	
F02C 3/30	F02C	3/30	B
F02C 7/08	F02C	7/08	B

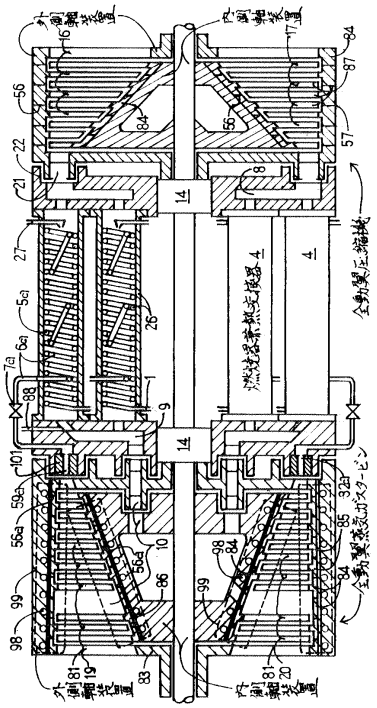
審査請求 未請求　請求項の数 1643　ＯＬ　（全 204 頁）

(21)出願番号　特願2002-349544(P2002-349544)
(22)出願日　平成14年12月2日(2002.12.2)
(31)優先権主張番号　特願2002-12572(P2002-12572)
(32)優先日　平成14年1月22日(2002.1.22)
(33)優先権主張国　日本国(JP)

(71)出願人　591274831
谷川　浩保
岡山県岡山市江並４２８―３５
(71)出願人　591274842
谷川　和永
岡山県岡山市江並４２８―３５
(72)発明者　谷川　浩保
岡山県岡山市江並４２８－３５

(54)【発明の名称】各種全動翼蒸気ガスタービン合体機関

(57)【要約】
【課題】地球温暖化防止が急務であり、ガスタービン排気温度を－２７３℃に近付けて、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して分別回収等、ＣＯ２等の燃焼ガス排気を０に近付ける内燃機関とし、例えば電気料金１／１０で地球温暖化防止。
【解決手段】全動翼蒸気ガスタービン合体機関の燃焼器兼熱交換器で限りなく高圧燃焼熱交換し、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けて、圧縮空気－２７３℃以上略全熱量を回収し、既存ボイラの２倍前後の熱回収量とします。そして燃焼ガス熱量発電量＋燃焼ガス質量発電量＝既存ガスタービンの２４０～５８０倍仮説発電量に増大の過程を、段落毎環状鋳造した電磁加熱タービン翼で、重力パワー１７００倍等高温水との間の摩擦損失を飛躍的に僅少として、構造簡単・消費熱量最小とし、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して水滴として分別し、ＣＯ２等燃焼ガス排気を０に近付けた各種全動翼蒸気ガスタービン合体機関とする。
【選択図】　図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴

の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回

収熱量を最大にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回

収熱量を含めて高温水回収熱量にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１２０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回

収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回

収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回

収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回

収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１７９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１８０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管

（６ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１８９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸

気ガスタービン合体機関。
【請求項１９１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１９９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２００】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２０１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して全動翼ガスタービンの最上流に噴射して気化爆発力を利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２０９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２１９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２２９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高

温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２３８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが

特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２３９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２４７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２４８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２４９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高

温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２５９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２６０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２６１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼

ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適

段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２６９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガ

ス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２７９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタ

ービン合体機関。
【請求項２８３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２８９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２９０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項２９１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回

収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項２９９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３００】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３０１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３０２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３０３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３０４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３０５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３０６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回

収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３０７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３０８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３０９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６

ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気タービンの最上流に噴射し、出力発生後に気化潜熱回収器（６６ａ）により熱回収して燃焼器兼熱交換器４に供給すると共に、需要家に温熱として供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３１９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３２８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸

気ガスタービン合体機関。
【請求項３２９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３３６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３３９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３４３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集して復水器真空を可能にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３４９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水

分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量を最大にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、燃料燃焼質量を低減する気化潜熱回収器（６６ａ）の回収熱量を含めて超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）の高温水管

（６ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より全動翼ガスタービンの最上流に噴射し、中流最適段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水（５ａ）で冷却し、低温燃焼ガスに膨張して水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３５９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３６０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３６１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３６２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３６３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３６４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温

水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３６５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３６６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３６７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３６８】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３６９】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３７０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３７１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３７２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（

７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、最適中流段に燃焼ガスを供給して出力する夫々前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３７９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス

（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項３８７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（

７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３８８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３８９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（

７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項３９９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４００】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡

して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び複数の霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気タービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により全動翼蒸気ガスタービン及び霧吹きの原理（９１ａ）の最上流に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、環状の燃焼ガス溜（９）の燃焼ガス（１０）を霧吹きの原理（９１ｂ）より噴射し、夫々により前方の空気を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４０９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利

用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１０】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１１】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１２】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１３】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１４】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１５】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１６】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４１７】
燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原

理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４１８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４１９】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２０】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２１】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、全動翼蒸気タービン排気で浮上推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２２】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、全動翼蒸気タービン排気で浮上推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２３】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、全動翼蒸気タービン排気で浮上推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２４】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、全動翼蒸気タービン排気で浮上推進することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２５】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、燃焼ガスで水を冷却してＣＯ２等を海底などに供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２６】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び複数の霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、燃焼ガスで水を冷却してＣＯ２等を海底などに供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２７】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、燃焼ガスで水を冷却してＣＯ２等を海底などに供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２８】

燃焼器兼熱交換器（４）により、超臨界圧力高温水回収熱量にして夫々の高温水加減弁（７ａ）により、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜（３２ａ）及び霧吹きの原理（９１ｃ）の最上流及び中流の夫々の高温水溜（３２ａ）に連絡して、気化爆発力を利用して複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より噴射し、霧吹きの原理（９１ｄ）の１以上のノズルより燃焼ガス（１０）全部を噴射して夫々前方の水を吸引して噴射推進し、燃焼ガスで水を冷却してＣＯ２等を海底などに供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４２９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４３０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４３１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４３２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４３３】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４３４】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４３５】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４３６】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４３７】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４３８】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４３９】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４４０】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４４１】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４４２】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４４３】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４４４】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超

臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４４５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４４６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４４７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４４８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４４９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧

力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４５９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超

臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４６９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧

力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４７９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超

臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４８９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４９０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４９１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４９２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項４９３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特

徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４９４】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４９５】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４９６】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４９７】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４９８】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項４９９】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５００】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５０１】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾

ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に

噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５０９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５１０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５１１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５１２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５１３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５１４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５１５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全

動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５１６】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５１７】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５１８】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５１９】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５２０】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５２１】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５２２】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５２３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５２４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５２５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５２６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５２７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５２８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５２９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外で

は散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３５】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３６】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３７】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５３９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出

力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４０】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４１】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４２】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４３】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４４】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４５】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４６】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５４７】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出

力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５４８】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５４９】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５５０】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５５１】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５５２】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５５３】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５５４】

加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に

近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５５５】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５５６】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５５７】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５５８】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５５９】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６０】
加熱高温手段（１０１）により加熱高温とした複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６１】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６２】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６３】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６４】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６５】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６６】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６７】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６８】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５６９】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７０】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７１】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７２】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７３】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７４】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７５】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７６】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して気化潜熱を最適利用することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項５７７】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７８】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５７９】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８０】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８１】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８２】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８３】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８４】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼の最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８５】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８６】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８７】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８８】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５８９】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃

の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９０】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９１】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９２】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９３】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９４】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９５】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９６】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９７】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９８】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項５９９】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６００】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６０１】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０２】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０３】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０４】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０５】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０６】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０７】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０８】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６０９】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６１０】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６１１】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガス

タービン合体機関。
【請求項６１２】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６１３】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６１４】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６１５】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６１６】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６１７】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６１８】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６１９】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２０】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２１】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全

動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２２】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２３】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２４】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２５】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２６】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２７】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２８】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６２９】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３０】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６３１】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３２】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３３】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３４】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３５】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３６】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３７】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３８】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６３９】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では

機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４０】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４１】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４２】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４３】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４４】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水にすることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４５】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４６】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４７】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４８】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６４９】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６５０】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６５１】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６５２】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気タービンの最上流より順次下流に噴射して断熱膨張大気圧まで回転出力を発生し、気化潜熱回収器（６６ａ）で気化潜熱を回収して全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）に供給して加熱高温水とし、夫々の高温水加減弁（７ａ）に連絡することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６５３】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６５４】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（

１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６５５】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６５６】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６５７】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６５８】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６５９】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６０】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６１】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６２】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６３】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６４】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼

ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６５】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６６】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６７】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６８】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６６９】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６７０】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６７１】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６７２】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６７３】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃

の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６７４】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６７５】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６７６】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６７７】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６７８】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６７９】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６８０】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６８１】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）

を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８２】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８３】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８４】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集することが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８５】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８６】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８７】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８８】
複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６８９】
高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスター

ビンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９０】

高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９１】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９２】

複数の高温水噴射ノズル（５９ａ）より超臨界圧力高温水を噴射して気化爆発力によりノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して全動翼蒸気ガスタービンの最上流より順次下流に噴射して回転出力を発生し、最適中流段に燃焼ガス（１０）を供給して高温水により冷却して回転出力を発生の過程で断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集してＣＯ２等の排気を０に近付けることが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９３】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンのタービン翼を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９４】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンのタービン翼を電磁加熱高温としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンのタービン翼を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの高温水噴射ノズル（５９ａ）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの高温水噴射ノズル（５９ａ）を電磁加熱高温としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項６９８】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの高温水噴射ノズル（５９ａ）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項６９９】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの電磁加熱噴口（８３）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７００】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの電磁加熱噴口（８３）を電磁加熱高温としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０１】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの電磁加熱噴口（８３）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０２】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側タービン動翼群（１９）及び内側タービン動翼群（２０）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０３】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側タービン動翼群（１９）及び内側タービン動翼群（２０）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０４】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０５】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０６】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする

全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０７】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０８】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンのタービン翼を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７０９】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンのタービン翼を電磁加熱高温としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１０】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンのタービン翼を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１１】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの高温水噴射ノズル（５９ａ）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１２】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの高温水噴射ノズル（５９ａ）を電磁加熱高温としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１３】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの高温水噴射ノズル（５９ａ）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１４】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの電磁加熱噴口（８３）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１５】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの電磁加熱噴口（８３）を電磁加熱高温としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７１６】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する

外側軸装置と内側軸装置を、最適回転比で結合した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの電磁加熱噴口（８３）を電磁加熱高温としたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７１７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側タービン動翼群（１９）及び内側タービン動翼群（２０）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７１８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側タービン動翼群（１９）及び内側タービン動翼群（２０）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７１９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２２】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２３】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２４】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全

動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２５】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２６】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２７】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２８】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７２９】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３０】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３２】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて

、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３３】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３４】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３５】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３６】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３７】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３８】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７３９】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）よ

り水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４０】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４１】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４２】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４３】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４４】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４５】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７４６】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以

下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７４７】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７４８】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７４９】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７５０】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７５１】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７５２】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７５３】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７５４】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７５５】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７５６】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７５７】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７５８】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７５９】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６０】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７６１】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６２】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６３】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６４】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６５】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６６】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６７】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７６８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７６９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７１】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７２】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７３】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７４】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７５】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮

機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７６】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７７】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７８】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７７９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８２】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に

一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８３】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８４】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８５】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８６】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射し該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８７】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８８】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７８９】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７９０】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの全動翼圧縮機において、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射し該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７９１】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７９２】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７９３】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７９４】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項７９５】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した

夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７９６】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７９７】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機翼群及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７９８】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機翼群及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項７９９】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８００】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０１】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機翼群及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０２】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として水路を連通した夫々の外側圧縮機翼群及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、石炭灰を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集し、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８０９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８１０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、石炭灰を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８１１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動

翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１２】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集し、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備し高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１７】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８１９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８２０】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置

（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８２８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群

（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８２９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３０】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３１】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３２】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して、雹や水滴等として分別回収可能にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８３６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外

側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８３７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８３８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８３９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８４０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８４１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８４２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８４３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体

機関。
【請求項８４４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けたことが特徴の全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８４５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８４６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８４７】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８４８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８４９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５０】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷

却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５１】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５２】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５７】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分

に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８５９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８６０】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８６１】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８６２】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８６３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８６４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８６５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８６６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８６７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する撥水性水冷却翼（８７）を含めたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８６８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８６９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８７７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体

機関。
【請求項８７８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８７９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８８０】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を段落毎環状に設けて、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８８１】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８８２】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８８３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８８４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する

全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮動機翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８８５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８８６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８８７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８８８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８８９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８９０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮動機翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出

力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８９１】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８９２】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８９３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８９４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８９５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８９６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮動機翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項８９７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８９８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項８９９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９００】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮動機翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造として、夫々の外側圧縮機動翼群（１６）及び内側圧縮機動翼群（１７）の大部分に、撥水性水冷却翼（８７）を設けて、段落毎全部以下半分の水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射して、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０３】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備し

た超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０４】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９０９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９１０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９１１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを

特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１２】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１３】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１４】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）に、水噴射手段（５６ａ）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１５】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１６】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１７】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１８】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９１９】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２０】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動

翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２１】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２２】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２３】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２４】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２５】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２６】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２７】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２８】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９２９】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９

）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３０】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３１】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３２】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３３】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３４】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３５】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３６】
発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３７】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９３８】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する

外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９３９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４０】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４１】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４２】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９４９】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５０】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５１】

発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガ

スタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９５９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側

軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体

鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９６９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９７０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９７１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９７２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９７３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９７４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９７５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９７６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該容積を縮小し単位質量を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９７７】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９７８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９７９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８０】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８１】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８２】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼

ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８７】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項９８９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタ

ービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高

温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気や燃焼ガスを冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９７】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９８】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項９９９】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０００】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００１】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００２】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００３】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等

の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００４】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００５】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００６】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００７】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００８】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１００９】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０１０】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸

気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１１】
復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１２】
復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンにおいて、環状に一体鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１３】
復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１４】
復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１５】
復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１６】
復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１７】
復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０１８】
復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内

側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０１９】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２０】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰や有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２３】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２４】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２５】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２６】

復水器真空まで断熱膨張させる、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２７】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２８】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした内側タービン動翼群（２０）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０２９】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３０】

復水器真空まで断熱膨張させる、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、環状鋳造（８４）して組立構造とした外側タービン動翼群（１９）の組立環状接続部付近に、水噴射手段（５６ａ）を断熱して設けて過熱蒸気を冷却し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰や有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置

（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰や有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰や有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０３９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０４０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰や有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０４１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０４２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、石炭灰や有害物質を含む低

温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０４３】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０４４】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０４５】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０４６】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を、該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０４７】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を、該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０４８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を、該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０４９】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０５０】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超

臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を、該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を、該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、分別した有害物質を、該合成溶解を促進する物質を含む水中に排出して、無害に近付けて放出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５５】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５６】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５７】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５８】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置

（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０５９】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６１】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６２】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６４】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、発電機により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンにおいて、有害物質を含む低温燃焼ガスを核に水や水蒸気を凝集して雹や水滴等として分別し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの内側軸装置を中空として、霧吹きの原理（９１）を利用して前方の空気を吸引噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの内側軸装置を中空として、霧吹きの原理（９１）を利用して前方の空気を吸引噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの内側軸装置を中空として、霧吹きの原理（９１）を利用して前方の空気を吸引噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０６９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、マイクロガスタービンを駆動することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７２】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、マイクロガスタービンを駆動することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７３】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７４】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備し

た超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０７９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０８０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０８１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０８２】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０８３】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０８４】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０８５】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０８６】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０８７】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０８８】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０８９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０９０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０９１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０９２】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０９３】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０９４】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１０９５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする

全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０９６】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０９７】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの内側軸装置を中空として、霧吹きの原理（９１）を利用して前方の空気を吸引噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０９８】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの内側軸装置を中空として、霧吹きの原理（９１）を利用して前方の空気を吸引噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１０９９】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの内側軸装置を中空として、霧吹きの原理（９１）を利用して前方の空気を吸引噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１００】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１０１】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１０２】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１０３】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、マイクロガスタービンを駆動することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１０４】
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する

外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、マイクロガスタービンを駆動することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１０５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１０６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１０７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１０８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１０９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１２】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１３】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１４】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１１９】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する

外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２０】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２１】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２２】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに於いて、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２３】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２４】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２５】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２６】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する

外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２７】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２８】

送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を最適回転比で結合し、電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器出口に、燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１２９】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３０】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３１】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３２】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３３】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３４】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタ

ービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３５】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３６】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３７】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３８】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１３９】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１４０】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１４１】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１４２】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１４３】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１４４】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１４５】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１４６】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１４７】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１４８】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１４９】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５０】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５１】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴

射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５２】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５３】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンに、電磁加熱噴口（８３）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５４】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに、電磁加熱噴口（８３）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５５】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに、電磁加熱噴口（８３）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５６】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンに、加熱高温手段（１０１）により電磁加熱高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５７】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに、加熱高温手段（１０１）により電磁加熱高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５８】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに、加熱高温手段（１０１）により電磁加熱高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１５９】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１６０】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１６１】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水を噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１６２】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ｃ）を利

用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６３】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６４】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６５】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６６】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６７】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６８】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１６９】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１７０】

電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１７１】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水（５ａ）を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１７２】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水（５ａ）を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１７３】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ａ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ａ）より高温水（５ａ）を噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１７４】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、霧吹きの原理（９１ｃ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ａ）より高温水を噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１７５】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１７６】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１７７】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ａ）（９１ｂ）を利用して夫々の１以上複数の特殊装置（９２ａ）（９２ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１７８】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｃ）（９１ｄ）を利用して夫々の１以上複数の水噴射装置（９３ａ）（９３ｂ）より高温水及び燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１１７９】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８０】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８１】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｂ）を利用して１以上複数の特殊装置（９２ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の空気を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８２】
電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンの燃焼器兼熱交換器（４）において、燃焼ガス出口に燃焼ガス取出口（８８）を設けて、霧吹きの原理（９１ｄ）を利用して１以上複数の水噴射装置（９３ｂ）より燃焼ガスを噴射し、前方の水を吸引して噴射推進し、該出力で駆動する装置を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８３】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンに、電磁加熱噴口（８３）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８４】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに、電磁加熱噴口（８３）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８５】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに、電磁加熱噴口（８３）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８６】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気タービンに、加熱高温手段（１０１）により電磁加熱高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８７】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに、加熱高温手段（１０１）により電磁加熱高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８８】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに、加熱高温手段（１０１）により電磁加熱高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１８９】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動す

る全動翼蒸気タービンに、加熱高温手段（１０１）により電気抵抗で高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９０】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼蒸気ガスタービンに、加熱高温手段（１０１）により電気抵抗で高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９１】
前記電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した超臨界圧力等の高温水（５ａ）等で駆動する全動翼ガスタービンに、加熱高温手段（１０１）により電気抵抗で高温の高温水噴射ノズル（５９ａ）を具備したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９２】
前記加熱高温手段（１０１）は、高温水噴射ノズル（５９ａ）に外嵌することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９３】
前記加熱高温手段（１０１）は、高温水噴射ノズル（５９ａ）に外嵌して加熱高温にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９４】
前記加熱高温手段（１０１）は、高温水噴射ノズル（５９ａ）に外嵌して電磁加熱高温にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９５】
前記加熱高温手段（１０１）は、高温水噴射ノズル（５９ａ）に外嵌して電気抵抗により加熱高温にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９６】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、加熱高温にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９７】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状ノズルにすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９８】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状ノズルにして加熱高温にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１１９９】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状末広ノズルにすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２００】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状末広ノズルにして加熱高温にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０１】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状ノズルにして気化爆発力により高温水（５ａ）を機関銃の弾丸のように加速することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０２】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状ノズルにして加熱高温にして気化爆発力により高温水（５ａ）を機関銃の弾丸のように加速することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０３】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状末広ノズルにして気化爆発力により高温水（５ａ）を機関銃の弾丸のように加速することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０４】
前記高温水噴射ノズル（５９ａ）は、銃身状末広ノズルにして加熱高温にして気化爆発力

により高温水（５ａ）を機関銃の弾丸のように加速することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０５】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０６】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して空気抽出器により飽和温度を１００℃前後として冷却水に給水（３）を使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０７】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して空気抽出器により飽和温度を８０℃前後として冷却水に給水（３）を使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０８】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して空気抽出器により飽和温度を６０℃前後として冷却水に給水（３）を使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２０９】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して海水温度等の上昇を廃止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１０】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して地球温暖化を防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１１】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し、燃焼器兼熱交換器（４）に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１２】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し該凝縮水と共に、燃焼器兼熱交換器（４）に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１３】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し該凝縮水と共に燃焼器兼熱交換器（４）に供給し、燃料燃焼質量を低減することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１４】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度１００℃前後の凝縮水と共に、燃焼器兼熱交換器（４）に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１５】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度８０℃前後の凝縮水と共に、燃焼器兼熱交換器（４）に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１６】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度６０℃前後の凝縮水と共に、燃焼器兼熱交換器（４）に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１７】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度１００℃前後の凝縮水と共に燃焼器兼熱交換器（４）に供給し、温

熱としても貯蔵することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１８】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度８０℃前後の凝縮水と共に燃焼器兼熱交換器（４）に供給し、温熱としても貯蔵することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２１９】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度６０℃前後の凝縮水と共に燃焼器兼熱交換器（４）に供給し、温熱としても貯蔵することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２０】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度１００℃前後の凝縮水と共に燃焼器兼熱交換器（４）に供給し、温熱としても貯蔵して需要家に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２１】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度８０℃前後の凝縮水と共に燃焼器兼熱交換器（４）に供給し、温熱としても貯蔵して需要家に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２２】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）は、復水器と略同様に構成して冷却水に給水（３）を使用して熱回収し飽和温度６０℃前後の凝縮水と共に燃焼器兼熱交換器（４）に供給し、温熱としても貯蔵して需要家に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２３】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向上流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２４】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向上流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２５】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向下流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２６】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向下流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２７】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側及び下流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２８】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側及び下流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換

して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２２９】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３０】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３１】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向下流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３２】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向下流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３３】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を昇圧して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３４】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を多段に昇圧して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３５】
前記複数の送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を多段に昇圧して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３６】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３７】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に、該水圧上昇により送水ポンプ（９７）を非接触に近付けると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３８】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に、該水圧上昇により送水ポンプ（９７）を非接触に近付けて超高速回転に対応すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２３９】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）

に供給する水を使用すると共に、該水温を上昇して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４０】
前記送水送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に水温を上昇して使用し、該水に物質を混入して公害低減し、潤滑すると共に、途中水路を水噴射手段（５６）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４１】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向上流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４２】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向上流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４３】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向下流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４４】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種着磁摩擦車や各種磁着摩擦車は、回転方向下流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４５】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側及び下流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４６】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側及び下流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４７】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４８】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向上流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２４９】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向下流側に、電磁石（３４）を設けて、夫々適宜に互換して使用す

ると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５０】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）の各種内着磁摩擦車や各種内磁着摩擦車は、回転方向下流側に、棒磁石（３３）を設けて、夫々適宜に互換して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５１】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を昇圧して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５２】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を多段に昇圧して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５３】
前記複数の送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）により、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を多段に昇圧して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５４】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５５】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に、該水圧上昇により送水ポンプ（９７）を非接触に近付けると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５６】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に、該水圧上昇により送水ポンプ（９７）を非接触に近付けて超高速回転に対応すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５７】
前記送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に、該水温を上昇して使用すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５８】
前記送水送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）は、燃焼器兼熱交換器（４）に供給する水を使用すると共に水温を上昇して使用し、該水に物質を混入して公害低減し、潤滑すると共に、途中水路を水噴射手段（５６ａ）に連絡したことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２５９】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で水路を接続使用することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６０】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で水路を接続使用し、該組立環状接続部付近から水噴射することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機

関。
【請求項１２６１】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で水路を接続使用し、該組立環状接続部付近から水噴射して圧縮空気を冷却し、熱回収することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６２】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で水路を接続使用し、該組立環状接続部付近から水噴射して圧縮空気を冷却し、熱回収した冷空気を略直線蛇行的に圧縮することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６３】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、撥水性水冷却翼（８７）を冷却手段（５５）の水路で段落半分を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６４】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、撥水性水冷却翼（８７）を冷却手段（５５）の水路で段落全部を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６５】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、撥水性水冷却翼（８７）を冷却手段（５５）の水路で段落複数を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６６】
前記水噴射手段（５６）は組立環状接続部付近に設け、撥水性水冷却翼（８７）を冷却手段（５５）の水路で段落多数を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６７】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６８】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２６９】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７０】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７１】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７２】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする電磁加熱タービン

動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７３】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７４】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７５】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７６】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７７】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７８】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２７９】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８０】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８１】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を低下することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８２】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を低下して冷却水量を僅少とすることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８３】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を低下して冷却水量を僅少とし、地球温暖化防止することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８４】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を低下することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８５】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を

最低にして冷却水温度の上昇を僅少とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８６】
前記水噴射手段（５６ａ）より飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を最低にして冷却水温度の上昇を僅少とし、地球温暖化防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８７】
前記水噴射手段（５６ａ）より最終段飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を最低にして冷却水温度の上昇を僅少とし、地球温暖化防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８８】
前記水噴射手段（５６ａ）より復水器真空最終段飽和温度以下の水噴射水蒸気を冷却して、排気排水温度を最低にして冷却水温度の上昇を僅少とし、地球温暖化防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２８９】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、水蒸気容積の増大を既存蒸気タービンの１／１００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９０】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、水蒸気容積の増大を既存蒸気タービンの１／３００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９１】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、水蒸気容積の増大を既存蒸気タービンの１／６００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９２】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、水蒸気容積の増大を既存蒸気タービンの１／１０００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９３】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの５００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９４】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの４００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９５】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの６００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９６】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの７００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９７】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの８００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９８】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの１０００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１２９９】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの３００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３００】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、全重力パワーを既存ガスタービンの１００倍前後にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３０１】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／５００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０２】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／４００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０３】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／３００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０４】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／２００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０５】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／１００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０６】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／５０以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０７】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／２０以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０８】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力動翼面積を既存蒸気タービンの１／１０以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３０９】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力冷却水温度例えば海水温度の上昇を既存蒸気タービンの１／１０００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１０】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力冷却水温度例えば海水温度の上昇を既存蒸気タービンの１／５００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１１】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力冷却水温度例えば海水温度の上昇を既存蒸気タービンの１／２００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１２】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力冷却水温度例えば海水温度の上昇を既存蒸気タービンの１／１００以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１３】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力冷却水温度例えば海水温度の上昇を既存蒸気タービンの１／５０以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１４】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力冷却水温度例えば海水温度の上昇を既存蒸気タービンの１／２０以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１５】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、同一出力冷却水温度例えば海水

温度の上昇を既存蒸気タービンの１／１０以下にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１６】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１７】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１８】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３１９】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２０】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２１】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度及を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２２】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２３】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度及び気化潜熱を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２４】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度の大部分を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２５】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２６】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して、略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２７】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して、略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３２８】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度の大部分を水質量の速度エネルギに変換して略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３２９】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３０】
前記水噴射手段（５６ａ）は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）した外側タービン動翼群（１９）及び内側タービン動翼群（２０）の、いずれかの組立環状接続部付近に設けたことを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３１】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用し、該組立環状接続部付近から水噴射することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３２】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用し、該組立環状接続部付近の水噴射手段（５６ａ）から水噴射して、燃焼ガス容積を縮小して質量を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３３】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用し、該組立環状接続部付近の水噴射手段（５６ａ）から水噴射して、気化爆発水蒸気容積を縮小して質量を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３４】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続して使用し、該組立環状接続部付近の水噴射手段（５６ａ）から水噴射し、該水に有害物質合成溶解を促進する物質を含めたことを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３５】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続して使用し、該組立環状接続部付近から水噴射し、該水に有害物質合成溶解を促進する物質を含めて、無害に近付けて排出することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３６】
前記水により撥水性水冷却翼（８７）を冷却後に、組立環状接続部付近に設けた水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３７】
前記水により撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３３８】
前記水により１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３３９】
前記水により段落全部の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４０】
前記水により段落半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４１】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼蒸気ガスタービンの熱回収量を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４２】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼ガスタービンの熱回収量を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４３】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼蒸気ガスタービンの排気近傍で、低温燃焼ガスを核に凝集する水分等の凝集を容易にすることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４４】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼ガスタービンの排気近傍で、低温燃焼ガスを核に凝集する水分等の凝集を容易にすることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４５】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼ガスタービンの排気近傍で、低温燃焼ガスを核に凝集する水分等の凝集を容易にすることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４６】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、海中に供給することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４７】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収し、海中に供給して、海藻類を繁殖させることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３４８】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収し、海中に供給して、珊瑚類を繁殖させることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３４９】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収し、海中に供給して、魚介類を繁殖させることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５０】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、海水を冷却する過程で酸素等を吸入して、海中に供給することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５１】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、酸素等と共に海中に供給して、海藻類を繁殖させることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５２】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、酸素等と共に海中に供給して、珊瑚類を繁殖させることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５３】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、酸素等と共に海中に供給して、微生物や魚介類を繁殖させることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５４】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５５】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却して冷熱で貯蔵することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５６】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却して冷熱で貯蔵し、供給することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５７】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却して冷熱で貯蔵し、業務用家庭用として供給することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５８】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３５９】

前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６０】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６１】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６２】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６３】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度及を水質量の速度エネルギに変換して単位重力パワーを増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６４】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６５】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して全重力パワーを増大して出力を増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６６】
前記水噴射手段（５６ａ）より水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度の大部分を水質量の速度エネルギに変換することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６７】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６８】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して、略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３６９】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度を水質量の速度エネルギに変換して、略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７０】
前記水噴射手段（５６ａ）より、水噴射水蒸気を冷却して、蒸気速度の大部分を水質量の速度エネルギに変換して略直線蛇行的に噴射して出力を発生することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７１】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用することを特徴とする超臨界圧力

等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７２】
前記水噴射手段（５６ａ）は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）した外側タービン動翼群（１９）及び内側タービン動翼群（２０）の、いずれかの組立環状接続部付近に設けたことを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７３】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用し、該組立環状接続部付近から水噴射することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７４】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用し、該組立環状接続部付近の水噴射手段（５６ａ）から水噴射して、燃焼ガス容積を縮小して質量を増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７５】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続使用し、該組立環状接続部付近の水噴射手段（５６ａ）から水噴射して、過熱蒸気容積を縮小して質量を増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７６】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続して使用し、該組立環状接続部付近の水噴射手段（５６ａ）から水噴射し、該水に有害物質合成溶解を促進する物質を含めたことを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７７】
前記水噴射手段（５６ａ）は組立環状接続部付近に設け、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で断熱した水路を接続して使用し、該組立環状接続部付近から水噴射し、該水に有害物質合成溶解を促進する物質を含めて、無害に近付けて排出することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７８】
前記水により撥水性水冷却翼（８７）を冷却後に、組立環状接続部付近に設けた水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３７９】
前記水により撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３８０】
前記水により１以上複数の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１３８１】
前記水により段落全部の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組

立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８２】

前記水により段落半分の撥水性水冷却翼を冷却後に水噴射手段（５６）より水噴射する組立環状接続部は、翼段落毎に環状に一体鋳造（８４）して、該組立環状接続部で冷却手段（５５）の水路を接続使用することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８３】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼蒸気ガスタービンの熱回収量を増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８４】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼ガスタービンの熱回収量を増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８５】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼蒸気ガスタービンの排気近傍で、低温燃焼ガスを核に凝集する水分等の凝集を容易にすることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８６】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼ガスタービンの排気近傍で、低温燃焼ガスを核に凝集する水分等の凝集を容易にすることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８７】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けることで、全動翼ガスタービンの排気近傍で、低温燃焼ガスを核に凝集する水分等の凝集を容易にすることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８８】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、海中に供給することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３８９】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収し、海中に供給して、海藻類を繁殖させることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９０】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収し、海中に供給して、珊瑚類を繁殖させることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９１】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収し、海中に供給して、魚介類を繁殖させることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９２】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関におい

て、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、海水を冷却する過程で酸素等を吸入して、海中に供給することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９３】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、酸素等と共に海中に供給して、海藻類を繁殖させることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９４】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、酸素等と共に海中に供給して、珊瑚類を繁殖させることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９５】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、酸素等と共に海中に供給して、微生物や魚介類を繁殖させることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９６】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９７】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却して冷熱で貯蔵することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９８】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却して冷熱で貯蔵し、供給することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１３９９】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して、水滴等として分別回収して、水道水を冷却して冷熱で貯蔵し、業務用家庭用として供給することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４００】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、燃焼器兼熱交換器（４）で微粉炭燃料を使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４０１】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、燃焼器兼熱交換器（４）で微粉炭燃料を燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収して使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４０２】

前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、燃焼器兼熱交換器（４）で微粉炭燃料を燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収し、発電用として使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４０３】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、ゴミガス化燃料を補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４０４】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、ゴミガス化燃料を燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４０５】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、ゴミガス化燃料を燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収して補助使用し、該燃焼ガス空気を全動翼圧縮機で圧縮することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４０６】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、ゴミガス化燃料を燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収して補助使用し、該燃焼ガス空気を全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器（４）に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４０７】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、燃えるもの全部を燃料として補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４０８】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、燃えるもの全部を燃料として燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４０９】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、燃えるもの全部を燃料として燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収して補助使用し、該燃焼ガス空気を全動翼圧縮機で圧縮することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１０】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、燃えるもの全部を燃料として燃焼させて超臨界圧力等の高温水（５ａ）で熱回収して補助使用し、該燃焼ガス空気を全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１１】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気タービンにおいて、起動時のみ全動翼ガスタービンとして使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１２】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービンにおいて、起動時のみ全動翼ガスタービンとして使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１３】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１４】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで非常に安

全なジエツト機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１５】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで非常に安全な宇宙往還親飛行機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１６】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで非常に安全な超音速飛行機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１７】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで非常に安全な超音速旅客機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１８】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで非常に安全な飛行船舶としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４１９】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで非常に安全な飛行物体としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２０】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで火災を消火容易発生困難として、非常に安全なジエツト機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２１】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで火災を消火容易発生困難として、非常に安全な宇宙往還親飛行機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２２】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで火災を消火容易発生困難として、非常に安全な超音速飛行機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２３】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで火災を消火容易発生困難として、非常に安全な超音速旅客機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２４】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで火災を消火容易発生困難として、非常に安全な飛行船舶としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２５】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、超臨界圧力等の高温水（５ａ）で燃焼器兼熱交換器（４）に貯蔵することで火災を消火容易発生困難として、非常に安全な飛行物体としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタ

ービン合体機関。
【請求項１４２６】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、特殊装置（９２ａ）によりラムジエツトを遥かに越える落差でバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２７】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、複数の特殊装置（９２ａ）によりラムジエツトを遥かに越える落差でバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２８】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、特殊装置（９２ｂ）によりラムジエツトを遥かに越える落差でバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４２９】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、複数の特殊装置（９２ｂ）によりラムジエツトを遥かに越える落差でバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３０】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、水噴射装置（９３ｂ）により燃焼ガスをバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３１】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、複数の水噴射装置（９３ｂ）により燃焼ガスをバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３２】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、水噴射装置（９３ａ）により超臨界圧力等の高温水（５ａ）をバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３３】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関において、複数の水噴射装置（９３ａ）により超臨界圧力等の高温水（５ａ）をバイパス噴射する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３４】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼ガスタービンにおいて、燃料の燃焼ガス熱量の使用を略０にすることを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３５】
前記低温燃焼ガスに石炭灰等を含めて、出力発生の過程で全重力パワーを増大し、出力を増大することを特徴とする電磁加熱タービン動翼（８１）を具備した全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３６】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼ガスタービンにおいて、燃料の燃焼ガス熱量の使用を略０にすることを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３７】
前記低温燃焼ガスに石炭灰等を含めて、出力発生の過程で全重力パワーを増大し、出力を増大することを特徴とする超臨界圧力等の高温水（５ａ）で出力を発生する全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４３８】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービンの、何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種発電設備としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４３９】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービンの、何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種熱と電気と冷熱の供給設備としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４０】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービンの何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種熱と電気の供給設備としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４１】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種船舶としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４２】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種航空機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４３】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種超音速飛行機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４４】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種宇宙往還親飛行機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４５】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種車両としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４６】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種自動車としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４７】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種機械としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４８】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種艦船としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４４９】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種戦車としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４５０】

前記全動翼ガスタービン及び全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種戦闘機としたこと

を特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５１】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種発電設備としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５２】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービンの何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種熱と電気と冷熱の供給設備としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５３】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービンの何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種熱と電気の供給設備としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５４】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種船舶としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５５】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種航空機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５６】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種車両としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５７】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種自動車としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５８】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種機械としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４５９】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種艦船としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６０】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種戦車としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６１】
前記全動翼蒸気タービン及び全動翼蒸気ガスタービン及び特殊装置及び水噴射装置の何れか１以上の出力で駆動する装置を、大中小各種戦闘機としたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６２】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で燃焼させる燃料は、ガソリン・天然ガス・プロパンガス・アルコール・メタノール・メタン・水素・軽油・重油・微粉炭・ゴミガス化燃料・ゴミ微細化燃料・可燃物の内、何れか１種類にしたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４６３】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で燃焼させる燃料は、ガソリン・天然ガス・プロパンガス・アルコール・メタノール・メタン・水素・軽油・重油・微粉炭・ゴミガス化燃料・ゴミ微細化燃料・可燃物の内、何れか２種類にしたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６４】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で燃焼させる燃料は、ガソリン・天然ガス・プロパンガス・アルコール・メタノール・メタン・水素・軽油・重油・微粉炭・ゴミガス化燃料・ゴミ微細化燃料・可燃物の内、何れか３種類以上にしたことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６５】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で燃焼させる燃料は、その種類を問わないことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６６】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関の出力で駆動する装置の種類を問わないことを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６７】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で使用する水に、公害低減地球温暖化防止するため、物質を混入してＣＯ２等の公害ガスを水に合成溶解容易にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６８】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で使用する水に、公害低減地球温暖化防止するため、化学物質を混入してＣＯ２等の公害ガスを水に合成溶解容易にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４６９】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で使用する水に、公害低減地球温暖化防止するため、物質を混入してＣＯ２等の公害ガスを水に合成溶解して排出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７０】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関で使用する水に、公害低減地球温暖化防止するため、化学物質を混入してＣＯ２等の公害ガスを水に合成溶解して排出することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７１】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関は、動力伝達装置に送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置（１４ａ）を使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７２】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関のタービン翼は、電磁加熱高温とすることで、水等との間の摩擦損失を低減してタービン翼を動圧反動駆動することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７３】
前記全動翼蒸気ガスタービン合体機関の圧縮翼は、撥水性を良好とすることで、水等との間の摩擦損失を低減して、効率良く空気圧縮して冷却することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７４】
前記全動翼圧縮機の撥水性冷却翼（８７）は、撥水性金属・撥水性物質の被覆・撥水性セラミックス・撥水性加工の、何れかで構成して撥水性を良好とすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７５】
前記撥水性冷却翼（８７）は、撥水性金属・撥水性物質の被覆・撥水性セラミックス・撥水性加工の、何れか１以上で構成して撥水性を良好とすることを特徴とする全動翼蒸気ガ

スタービン合体機関。
【請求項１４７６】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７７】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７８】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４７９】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８０】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８１】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８２】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８３】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８４】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８５】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８６】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８７】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８８】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４８９】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９０】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９１】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１４９２】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９３】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９４】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９５】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９６】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９７】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９８】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１４９９】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５００】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０１】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０２】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０３】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０４】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０５】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０６】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５０７】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０８】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５０９】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１０】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１１】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１２】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１３】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１４】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１５】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１６】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１７】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１８】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５１９】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２０】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２１】

前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２２】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２３】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２４】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２５】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２６】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２７】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２８】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５２９】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３０】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３１】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３２】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３３】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器

４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３４】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３５】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３６】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３７】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３８】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５３９】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５４０】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５４１】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５４２】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５４３】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５４４】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５４５】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５４６】

前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５４７】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５４８】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５４９】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５０】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５１】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５２】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５３】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５４】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５５】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５６】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５５７】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器

４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５５８】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５５９】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６０】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６１】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６２】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６３】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６４】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６５】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６６】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６７】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５６８】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタ

ービン合体機関。
【請求項１５６９】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７０】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７１】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して通常使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７２】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７３】
前記燃焼器兼熱交換器４には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７４】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７５】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７６】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７７】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、微粉炭燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７８】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５７９】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５８０】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８１】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８２】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８３】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミガス化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８４】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８５】
前記燃焼器兼熱交換器４には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８６】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８７】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８８】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５８９】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、ゴミ微細化燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９０】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１５９１】
前記燃焼器兼熱交換器４には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９２】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９３】
前記全動翼蒸気タービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９４】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した超臨界圧力高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９５】
前記全動翼蒸気ガスタービンの高温水溜（３２ａ）には、燃えるもの全部の燃料から熱回収した高温水（５ａ）を供給し、電力にして該燃焼ガスも全動翼圧縮機で圧縮して燃焼器兼熱交換器４で再燃焼熱回収して補助使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９６】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９７】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９８】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ａの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１５９９】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ａの空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６００】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ａ・９１ｂの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０１】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ａ・９１ｂの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０２】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により船体を浮上させて噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガス

タービン合体機関。
【請求項１６０３】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により船体を浮上させて噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０４】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ｃ・９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０５】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ｃ・９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０６】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ｃの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０７】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０８】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６０９】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６１０】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ａの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６１１】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ａの空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６１２】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ａ・９１ｂの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６１３】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ａ・９１ｂの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６１４】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により船体を浮上させて燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６１５】

前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により船体を浮上させて燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６１６】

前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ｃ・９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６１７】

前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ｃ・９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６１８】

前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ｃの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６１９】

前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２０】

前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２１】

前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２２】

前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ａの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２３】

前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ａの空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２４】

前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ａ・９１ｂの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２５】

前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ａ・９１ｂの空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２６】

前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により船体を浮上させて燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。

【請求項１６２７】

前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、空気吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により船体を浮上させて燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを

特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６２８】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ｃ・９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６２９】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ｃ・９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水の質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３０】
前記噴射推進する全動翼蒸気ガスタービンは、霧吹きの原理９１ｃの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３１】
前記噴射推進する全動翼蒸気タービンは、霧吹きの原理９１ｄの水吸引力を含めた噴射高温水と燃焼ガスの質量速度の増大により燃料積載量を大幅に低減して非常に安全に噴射推進することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３２】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の冷却水に水道水を使用することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３３】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の冷却水に水道水を使用して貯蔵し温熱を需要家に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３４】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の冷却水に水道水を使用して貯蔵し１００℃に近い温熱を需要家に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３５】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の冷却水に水道水を使用して貯蔵し１００℃以下の温熱を需要家に供給することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３６】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の凝縮水全部を燃焼器兼熱交換器（４）に供給して超臨界圧力高温水（５ａ）にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３７】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の凝縮水全部を燃焼器兼熱交換器（４）に供給して高温水（５ａ）にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３８】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の凝縮水全部を燃焼器兼熱交換器（４）に供給して燃料供給熱量を気化潜熱に近付けて低減し、超臨界圧力高温水（５ａ）にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６３９】
前記気化潜熱回収器（６６ａ）の凝縮水全部を燃焼器兼熱交換器（４）に供給して燃料供給熱量を気化潜熱に近付けて低減し、高温水（５ａ）にすることを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６４０】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関に於いて、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して水滴等として回収し、水道水を冷却して貯蔵して需要家に供給して業務用や家庭用のクーラーを全廃し、脱フロンにより地球温暖化防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６４１】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関に於い

て、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して水滴等として回収し、水道水を冷却して貯蔵して需要家に供給して都市部を丸ごと冷却し、脱フロンにより地球温暖化防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６４２】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関に於いて、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して水滴等として回収し、水道水を５℃前後に冷却して貯蔵して需要家に供給して業務用や家庭用のクーラーを全廃し、脱フロンにより地球温暖化防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【請求項１６４３】
前記燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付ける、全動翼蒸気ガスタービン合体機関に於いて、低温燃焼ガスを核に水分等を凝集して水滴等として回収し、水道水を５℃前後に冷却して貯蔵して需要家に供給して都市部を丸ごと冷却し、脱フロンにより地球温暖化防止することを特徴とする全動翼蒸気ガスタービン合体機関。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は既存内燃機関技術が、熱量を殆ど利用しない容積利用で、燃料電池や風力発電と競合する理由を、明快に説明するため、アイディアを仮説数字で説明するが、正解は実験数値とし、アイディア仮説数字に限定しない。例えば最先端再熱蒸気タービンは、熱量を全く利用しない容積利用ため、断熱膨張真空部では１００００倍以上に膨張し、重力パワーが１／１００００以下に低減して、同一出力では１００００倍の動翼面積を必要とするのに加えて、超臨界圧力等に落差を増大しても、１０００００００回転等は不可能なため、動翼の１０倍乃至２０倍前後も速度エネルギを消費し、回転仕事を全くしない静翼を１／２も設け、断熱膨張で騙して実は、ボイラで加熱した熱量全部で海水温度を上昇して、地球温暖化を加速する等、仮説出力を１／５００等に低減する無茶苦茶をしております。
【０００２】
そこで再熱を逆転して燃焼器兼熱交換器４により、超臨界圧力等の高温水回収熱量を最大にし、主として加熱高温手段１０１により加熱高温とした、高温水噴射ノズル５９ａより摩擦損失最少で高温水を噴射し、気化爆発エネルギによりノズル内では機関銃の弾丸のように高温水を加速し、ノズル外では高温水を散弾ロケットのように加速して、気化潜熱を最適利用することで、大気圧重力パワーを最先端再熱蒸気タービンの１７００倍とし、重力仕事率を１７００倍に近付けることで、動翼面積の一部乃至大部分を既存再熱蒸気タービンの１／１７００に縮小して、静翼で堰き止める無茶苦茶を全廃し、合理的な動翼面積の設計が可能な、全動翼蒸気タービン等とする技術に関する。
【０００３】
再熱蒸気タービンの復水器真空まで断熱膨張も逆転して、大気圧以下用途に合わせた断熱膨張の全動翼蒸気タービンにすることで、気化潜熱回収器（６６ａ）を設けて、１００℃以下の気化潜熱を含めて回収熱量を最大にし、１００℃に近い回収熱量と凝縮水全部を、燃焼器兼熱交換器４により、超臨界圧力等の高温水として、膨大な気化潜熱を繰返し使用することで、燃料燃焼質量を大幅に低減が可能な全動翼蒸気ガスタービン乃至、全動翼ガスタービンにして、膨大な冷熱の供給を可能にすると共に、膨大な温熱の供給が可能な全動翼蒸気タービンにより、海水温度の上昇を皆無にする技術に関する。
【０００４】
最先端ガスタービンも熱量を殆ど利用しない容積利用のため、燃焼ガスタービン入口温度の上昇を必須として、タービン耐熱限界温度の上昇により、落差の上昇が不可能なのに加えて、燃焼ガス質量の速度エネルギを回転力に変換する構成も、動翼の１０倍～２０倍前後も速度エネルギを消費して、回転仕事を全くしない静翼を１／２も設けて損失を増大し、更に熱量が利用されないまま５００℃前後で排気され、出力を１／１００～１／５００に低減して大損失です。
【０００５】

そこで最先端ガスタービンを逆転して、燃焼ガスタービン入口温度を最低にするため、ガスタービン燃焼器兼熱交換器４とし、限り無く高圧燃焼熱交換冷却燃焼させて熱回収量を最大にすることで、静翼を逆転して全廃した全動翼ガスタービンの、燃焼ガスタービン入口温度を逆転最低として、該排気温度を－２７３℃に近付け（－温度略全部を含める）、圧縮した空気の保有熱量全部を含めて、既存ボイラの２倍前後の回収熱量や、気化潜熱回収器（６６ａ）の無限大に近い回収熱量を含めて、超臨界圧力等の高温水にする技術に関する。

【０００６】

例えば超臨界圧力等の高温水を、全動翼ガスタービンの最上流に供給して、加熱して高温として摩擦損失を最少とした、高温水噴射ノズル５９ａより高温水を噴射して、気化爆発エネルギにより水滴を弾丸やロケットのように加速して、全動翼ガスタービンを駆動し、中流最適段に低温燃焼ガスを供給して、断熱膨張復水器真空まで出力発生の過程で、極低温燃焼ガスを核に水分を凝集して復水器真空まで膨張を可能にし、最適最少量高温水の使用で気化熱の冷却損失を最少とし、ＣＯ２等の燃焼ガス排気を０として、膨大な冷熱を回収する技術に関する。

【０００７】

そして燃料熱量の消費を０以下等として、超臨界圧力高温水等を含めた全動翼ガスタービンを駆動の過程で、全動翼により同一質量の燃焼ガスと高温水を略直線蛇行的に噴射して、機械効率を１０倍～２０倍に上昇することで（既存ガスタービンの５倍落差×２倍質量×１０倍～２０倍機械効率）＝（既存ガスタービンの１００倍～２００倍仮説出力）＝（燃焼ガス質量＋高温水気化爆発力の出力）とし、最少の高温水を含めることで復水器真空まで膨張を可能にし、全動翼ガスタービン燃焼ガス質量出力の熱効率を無限上昇させ、熱力学により２０世紀中大停滞していた科学技術を、蘇えらせる技術に関する。

【０００８】

再熱蒸気タービンを逆転した全動翼蒸気タービンを駆動の過程では、既存ボイラの２倍前後の回収熱量を、超臨界圧力等の高温水とし、出力発生の過程では、夫々の高温水加減弁７ａより高温水管６ａを介して、高温水５ａを夫々の高温水溜３２ａ供給し、夫々加熱高温手段１０１により加熱高温となった高温水噴射ノズル５９ａより、高温水との間に気化膜を設けて摩擦損失最少で噴射し、気化爆発エネルギによりノズル内では弾丸のように高温水を加速し、ノズル外では高温水５ａをロケットのように加速して、重力パワーが最先端再熱蒸気タービンの大気圧１７００倍や、真空部１００００倍の重力仕事率に近付ける技術に関する。

【０００９】

高温水質量の気化爆発速度エネルギに変換して、全重力パワーを１００倍や、２００倍乃至５００倍に増大して出力を発生します。出力を発生の過程では、夫々の高温水噴射ノズル５９ａや電磁加熱噴口８３を含む、電磁加熱タービン翼８１の全動翼蒸気タービン等として、高温水との間に気化膜を設けて摩擦損失を最小とし、略直線蛇行的に噴射して復水器真空まで膨張させて、機械効率を２０倍に上昇します。そして既存ボイラの２倍回収熱量の（同一燃料量高温水熱量質量出力）＝（４０倍～１００倍質量重力パワー×５倍落差×２倍回収熱量質量×２０倍機械効率／４０）＝（既存ガスタービンの２００～５００倍仮説発電量）等にする技術に関する。

【００１０】

本発明は全動翼タービン翼を電磁誘導加熱高温とするため、電磁調理器と同様にコイル９８を設けて通電し、比透磁率の大きい鉄を含む材料の中に磁力線９９を集めて、うず電流による電気抵抗によってジュール熱を発生し、加熱高温各種の電磁加熱タービン動翼８１を構成します。そして電磁加熱タービン動翼８１と高温水との間に気化膜を設けて、全動翼により略直線蛇行的に噴射して、摩擦損失最小・消費熱量最少・重力パワー最大で大気圧まで出力を発生して、構造が大幅に小型簡単な例えば輸送機器用としての、各種全動翼蒸気ガスタービン合体機関の、超臨界圧力高温水出力を、（同一燃料量既存ガスタービンの大気圧２０倍質量重力パワー×５倍落差×２倍回収熱量×１０倍～２０倍機械効率／２

０）＝（既存ガスタービンの１００倍～２００倍仮説出力）等にする技術に関する。
【００１１】
本発明は全動翼ガスタービン圧縮機翼を、撥水性金属・撥水性物質の被覆・撥水性セラミックス・撥水性加工の、何れか１以上で構成の撥水性水冷却翼８７にすることで、撥水性水冷却翼８７と水等との間の摩擦損失を低減して、全動翼により略直線蛇行的に空気圧縮して、摩擦損失最小で空気を水冷却して圧縮し、燃焼器兼熱交換器４に最も効率良く低温空気を供給する技術に関する。
【００１２】
そして燃焼ガスは冷却する程単位重力パワーが増大して、小型大出力に出来るため、各種全動翼蒸気ガスタービンの、燃焼器兼熱交換器４により限りなく高圧燃焼熱交換し、タービン燃焼ガス入口温度を最低とし、出力発生の過程でも燃焼ガスを高温水に合流して冷却し、断熱膨張極低温燃焼ガスに移行し、極低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、氷の被覆をして燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、復水器真空まで膨張させるガスタービン技術に関する。
【００１３】
各種全動翼蒸気ガスタービンの、燃焼器兼熱交換器４により限りなく高圧燃焼熱交換し、圧縮空気保有熱量全部を含め、燃料発熱量全部＋圧縮空気保有熱量を熱回収し、既存ボイラの２倍前後の熱回収量の超臨界圧力高温水として、各種全動翼蒸気ガスタービン合体機関を駆動します。そして起動時には高温水が皆無のため、起動時のみ（燃焼ガス質量×２倍落差×１０～２０倍機械効率）＝（既存ガスタービンと同一燃焼ガス質量２０～４０倍仮説出力）により、各種全動翼ガスタービンとして駆動し、燃料の消費熱量を０以下として、該熱効率を無限上昇とします。そして出力発生の過程で高温水圧力を上昇し、大気圧や復水器真空まで膨張させる、各種全動翼蒸気ガスタービン合体機関に移行した技術に関する。
【００１４】
本発明は、燃焼器兼熱交換器４により限りなく高圧燃焼熱交換して得た、最低温度の燃焼ガス質量出力＋既存ボイラの２倍前後回収熱量の超臨界圧力高温水出力を、大気圧まで使用し（既存ガスタービンと同一質量２倍落差×１０倍～２０倍機械効率＋１００～２００倍出力）＝（１２０～２４０倍仮説出力）として、大気圧で使用の全動翼蒸気ガスタービンを駆動する技術に関する。
【００１５】
回転出力輸送機器の自動車等の出力発生は、超臨界圧力等の高温水５ａ全部を、複数の高温水加減弁７ａより高温水管６ａを介して、全動翼蒸気ガスタービンの夫々の高温水溜３２ａに供給し、夫々の加熱高温手段１０１により加熱高温とした、高温水噴射ノズル５９ａより高温水を噴射して、高温水との間に気化膜を設けて摩擦損失を最少とし、気化爆発エネルギによりノズル内では高温水を弾丸のように加速し、ノズル外では高温水をロケットのように加速して、電磁加熱高温とした全動翼を略直線蛇行的に加速噴射高温水駆動し、全動翼との間に気化膜を設けて摩擦損失最少で出力を発生し、最適中流段に低温燃焼ガスを供給して、高温水で冷却しながら出力を発生させ、出力発生断熱膨張の過程で燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して雹や水滴等とし、回転出力輸送機器でＣＯ２等の燃焼ガス排気を０に近付ける技術に関する。
【００１６】
回転出力輸送機器用等は、ＣＯ２等燃焼ガス排気を０として１２０倍や２４０倍出力等とする、極低温燃焼ガス被覆用の雹や水滴を最大にするため、全出力を全動翼蒸気ガスタービン回転出力として使用します。用途により送水する高温水噴射用の水に化学物質等を混入し、ＣＯ２等の燃焼ガスを合成溶解容易とし、輸送用機器等からのＣＯ２等公害ガス排気を、出力発生断熱膨張の過程で、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、低温ＣＯ２等燃焼ガスを核に２０倍質量等の水分を凝集し、水滴等としてＣＯ２等燃焼ガス排気を０に近付けます。そして動力を伝達しながら、多段に昇圧して超高圧少量送水する、送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａや、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１

４ａを、用途により中核技術として、全ての全動翼蒸気ガスタービン合体機関に含めて、水質量にＣＯ２等を溶解して排水する技術に関する。

【００１７】

噴射推進出力輸送機器用等としては、ＣＯ２等の燃焼ガス排気を０として、１２０倍や２４０倍仮説出力等とするため、燃焼器兼熱交換器により高圧燃焼熱交換して最大の熱回収量とし、熱回収した超臨界圧力等の高温水の一部で、用途により全動翼圧縮機を含む全動翼蒸気タービンを駆動します。残りの高温水の一部及び燃焼ガス全部を、夫々の霧吹きの原理９１を利用してバイパス噴射推進し、残りの高温水を燃焼器兼熱交換器等に適宜に貯蔵して最適利用し、適宜に使用する噴射推進出力の各種輸送機器等として使用する技術に関する。

【００１８】

燃焼ガス全部をバイパス噴射推進する船舶等では、断熱膨張極低温燃焼ガスにより直接海水を冷却して、ＣＯ２等の燃焼ガス全部を海底に供給する過程で、更に酸素等の空気を吸引して供給し、水域を活性化して藻類や魚介類等の食料増産を図ります。そして回転出力や噴射推進出力を利用する、各種発電設備や熱と電気と冷熱の併給設備や、熱と電気の併給設備や各種汎用機関や、各種車両や各種機械用や、各種航空機や各種飛行物体や、各種船舶や各種飛行船舶や、各種飛行車両等あらゆる用途に対応可能にする技術に関する。

【００１９】

【従来の技術】

既存ガスタービンは偶々出力を発生したものの改良で、熱量を全く利用しない容積利用のため、タービンの耐熱限界温度に制約されて、燃焼ガス落差×質量＝重力仕事率の増大が不可能乃至困難に加えて、熱量を利用しないで断熱膨張５００℃前後に、単位容積の重力仕事率を大幅に低減して高温排気し、断熱膨張して熱回収が困難な排気後に熱回収する等、無茶苦茶設計です。更に動翼の１０倍～２０倍前後も速度エネルギを消費して、回転仕事を全くしない静翼を１／２も設けているため、全熱出力が１／１００や１／５００等に低減して、燃料電池の出力に近付き大損失です。

【００２０】

既存蒸気タービンも偶々出力を発生したものの改良で、超臨界圧力過熱蒸気を使用しても、熱量を全く利用しない容積利用のため、断熱膨張復水器真空では１００００倍以上に膨張し、単位重力パワーが１／１００００に低減し、同一出力に１００００倍の動翼面積が必要です。膨大な蒸気速度も全く利用不可のため、動翼の１０倍～２０倍前後も速度エネルギを消費して、回転仕事を全くしない静翼を半分も設けて、蒸気速度を堰き止めて減速する等、無茶苦茶過ぎるのです。蒸気容積のみ利用のサイクルでは、合理的な設計が不可能なため、無茶苦茶な設計となり、全熱出力が１／１００や１／５００等に低減して、風力発電や燃料電池に発電原価が近付き、膨大な熱需要があるのに、ボイラで加熱した全熱量を断熱膨張し、全熱量で海水温度等を上昇して地球温暖化を加速し、ＣＯ２等をボイラから排気して大損失です。

【００２１】

又、先の出願としてガスタービン燃焼器を改良した、特願２０００－０２４５５２号、特願２０００－０３２５３９号、特願２０００－０４３７０６号、特願２０００－０５８０７９号、特願２０００－１０７４４６号、特願２０００－３９２４０１号、特願２００１－０１１３９９号、特願２００１－０１５２３４号、特願２００１－０２０９６３号、特願２００１－１７１１２８号、特願２００１－３１２３３８号、特願２００１－３３６１３９号、特願２００２－１２５７２号、特願２００２－１１８９３３号、特願２００２－１４２２７０号があります。以上先の出願に基づく優先権主張出願は概略的に、全動翼を含む及び／ガスタービンの全複数の燃焼器を、熱交換器としても兼用して、限りなく燃焼熱交換して、燃焼ガス入り口温度を低下させることにより、燃焼ガス熱量と燃焼ガス質量を、別々に使用可能とし、過熱蒸気や燃焼ガスを水噴射冷却して、大気圧重力パワー１７００倍の凝縮水を最適最大とするものです。

【００２２】

【発明が解決しようとする課題】
既存最先端再熱蒸気タービンは、熱量を全く利用しない容積利用のため、再三再熱して容積を増大し、最終段復水器真空では蒸気容積が１００００倍以上に増大し、重力パワーが１／１００００等に低減するため、動翼面積を１００００倍に増大しないと、同一落差では同一出力が得られません。即ち、設計不可能な動翼面積や大蒸気速度のため、膨大な静翼を設けて多段に堰き止めて風向きを反転させ、実用過熱蒸気速度に減速する、無茶苦茶な設計となります。更に問題なのは膨大な温熱の需要が有るのに、ボイラで発生回収した熱量を全く利用しないで、断熱膨張させて回収熱量全部で海水温度を上昇して地球温暖化を加速し、発電量を１／１００や１／５００に低減して大損失していることです。
【００２３】
そこで既存ガスタービン燃焼器を燃焼器兼熱交換器４として、超臨界圧力等の高温水とした回収熱量を最大とし、超臨界圧力等の高温水気化爆発エネルギにより、ノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように高温水を加速して、大気圧単位容積の重力パワーを１７００倍に増大して出力を発生させます。用途により出力発生の過程で更に水噴射して水蒸気を冷却し、その容積を縮小して重力パワーを増大した出力発生とし、排気の過程では気化潜熱回収器６６ａを復水器と略同様に設けて、空気抽出器により用途に合わせた飽和温度にし、冷却水も用途に合わせて給水３や海水を使用し、通常は１００℃乃至５０℃前後の給水３や凝縮水として回収し、燃焼器兼熱交換器４に供給して同一熱量を繰り返し使用し、残りの膨大な温熱を需要家に供給し、可能な限り温熱の有効利用を拡大し、地球温暖化防止することを目的とします。
【００２４】
気化潜熱回収器６６ａにより同一熱量を繰返し熱回収して、燃焼器兼熱交換器４に供給して燃料燃焼質量を大幅に低減し、熱回収して得た超臨界圧力等の高温水５ａを、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜３２ａに供給し、加熱高温手段１０１により加熱高温とした高温水噴射ノズル５９ａより、高温水との間に気化膜を設けて摩擦損失を最少とし、高温水の気化爆発力を利用して、ノズル内では機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように高温水を加速して、落差や重力パワーを最大に近付けた出力発生とし、既存ガスタービンの５００倍仮設出力等に上昇させることを目的とします。
【００２５】
熱回収して回収熱量を繰返し再々使用する熱量が不明のため、計算を復水器真空まで使用する計算とし、単位容積重力パワーが、既存蒸気タービンの終段１００００倍重力パワーを、２０倍～５０倍重力パワーに大幅に低減した計算で、高温水での仮説発電量を（既存ガスタービンの２倍回収熱量質量×２０倍～５０倍質量重力パワー×５倍落差×１０～２０倍機械効率／１０～２０）＝（既存ガスタービンの２００倍～５００倍仮説発電量）に上昇を目的とします。
【００２６】
そして最終段復水器真空での動翼面積の一部～大部分を、１／１００００に縮小して、動翼面積を設計可能な動翼面積とします。そして電磁加熱高温とした、電磁加熱外側タービン動翼群及び電磁加熱内側タービン動翼群を具備した、全動翼蒸気タービンにより、略直線蛇行的に高温水５ａを噴射して、電磁加熱タービン動翼と水との間に気化膜を設けて、摩擦損失最少で出力を発生し、同一燃料消費量で２００倍乃至５００倍仮説発電量等に上昇することを目的とする。
【００２７】
既存最先端ガスタービンも、熱量を全く利用しない容積利用では、タービン入り口温度の上昇を必須とし、タービン耐熱限界温度の上昇により、落差の増大が不可能になり、材料費の増大損失も膨大となり、排気温度が５００℃前後と非常に高く、単位動翼面積の重力仕事率が大幅に低減して、動翼面積の大幅な増大を必要とするため、膨大な静翼を設けて多段に堰き止めて風向きを反転させ、実用燃焼ガス速度に減速する無茶苦茶設計となり、熱量が全く利用出来ないため、出力が１／２００乃至１／５００の燃料電池や風力発電並出力に低減し、ＣＯ２等を排気して地球温暖化の加速も膨大となり大損失です。

【００２８】
そこで教育テレビで放映のように、熱量をより大きな（大落差×単位容積大質量重力仕事率）に変換して、仕事量を大幅に増大するため、既存ガスタービン燃焼器を燃焼器兼熱交換器として、限りなく高圧燃焼熱交換して、排気温度を－２７３℃に限り無く近付けて、低温燃焼ガスを核に水分を凝集し、５０倍質量等の水に燃焼ガスを溶解して排水し、ＣＯ２等の排気を０に近付けることを目的とします。
【００２９】
そして圧縮空気保有熱量－２７３℃以上略全部も含めて、既存ボイラの２倍前後の熱回収量の、超臨界圧力等の高温水熱回収量として、全動翼蒸気タービン及び全動翼ガスタービン乃至全動翼蒸気ガスタービンを駆動し、同一燃焼ガス質量×２倍落差×１０～２０倍機械効率等の燃焼ガス出力を含めて、既存ガスタービンの５００倍仮説発電量等にし、地球温暖化防止することを目的とする。
【００３０】
【課題を解決するための手段】
実験数値が正解ですが、前段階のアイディアを明快に説明するため、仮説数字で説明しますが、アイディア仮説数字に限定はしません。既存最先端再熱蒸気タービンのように再熱して、熱量を全く利用しない容積利用では、超臨界圧力から真空部まで蒸気速度が膨大過ぎて、有効利用困難ないし不可能に加えて、蒸気容積も１００００倍等に膨張し、単位容積重力パワーが１／１００００に減少して、同一落差同一出力に１００００倍の動翼面積が必要です。
【００３１】
即ち実現不可能な動翼面積のため再熱を逆転して、超臨界圧力等の高温水の気化爆発エネルギにより出力を発生し、加熱高温手段１０１により加熱高温として高温水との間に気化膜を設けて、摩擦損失を最少として砲身状とした、高温水噴射ノズル５９ａより高温水の気化爆発力を利用して、ノズル内では機関銃の弾丸のように高温水を加速し、ノズル外では散弾ロケットのように高温水を加速して（既存ガスタービンの５倍落差×２倍回収熱量質量×２０倍～５０倍質量重力パワー×１０～２０倍機械効率／１０～２０）＝（２００倍～５００倍仮説出力）に増大します。
【００３２】
そして真空部重力パワー水蒸気の１００００倍の高温水質量を、最適の最大として動翼面積の一部乃至大部分を、既存再熱蒸気タービンの１／１００００等に縮小します。超臨界圧力等の高温水気化爆発力を利用することで、容積の増大を僅少として合理的な全動翼の設計を可能にし、全重力パワー５００倍等の高温水と、加熱高温の電磁加熱外側タービン動翼群１９や、電磁加熱内側タービン動翼群２０との間に気化膜を設けて、摩擦損失最少で略直線蛇行的に噴射して回転出力を発生し、高温水の気化爆発力により噴射速度を大幅に減速して、重力パワーを極限まで増大し、機械効率を１０～２０倍に上昇して、略直線蛇行的に噴射する全動翼を通常設計が可能とし、５００倍仮説出力等とします。
【００３３】
既存最先端ガスタービンも熱量を全く利用しない容積利用のため、出力が小さく排気温度も５００℃前後と高温で、ＣＯ２等の排出で地球温暖化を加速するため、全熱量を回収して有効利用します。そこで先ず既存ガスタービン燃焼器を燃焼器兼熱交換器４として、限りなく高圧燃焼熱交換して燃焼ガス入口温度を最低にし、圧縮した空気の保有熱量－２７３℃以上略全部も含めて、既存ボイラの２倍前後の熱回収量の、超臨界圧力高温水等として熱回収し、該排気温度を－２７３℃に近付けます。すると燃焼温度と容積の障壁が最低となり、圧縮圧力を既存ガスタービンの２倍以上の１０ＭＰａ以上として、理論空燃比まで燃料燃焼質量も、同一圧縮空気量既存ガスタービンの略４倍とします。
【００３４】
摩擦損失最少で出力を発生させるため、全動翼電磁加熱タービン動翼８１の、外側軸装置及び内側軸装置にコイル９８を設け、公知技術により回転接点を設けて通電し、電磁加熱調理器と略同様に、環状の電磁加熱噴口８３を含む、電磁加熱外側タービン動翼群１９及

び電磁加熱内側タービン動翼群２０を、比透磁率の大きい材料で構成し、磁力線９９の渦電流により加熱高温にし、電磁加熱タービン動翼８１と超臨界圧力高温水等との間に気化膜を設け、摩擦損失を最小の重力パワーを最大の最適速度で出力を発生します。

【００３５】

全動翼電磁加熱タービン動翼８１により略直線蛇行的に噴射して、気化爆発エネルギを最適利用して無駄を全廃し、機械効率を１０倍～２０倍に上昇し、排気の過程では復水器と略同様に設けた、気化潜熱回収器６６ａの空気抽出器により、用途に合わせて飽和温度を１００℃・８０℃・６０℃以下等とし、冷却水も給水３と海水等を用途に合わせて使用して、気化潜熱回収器６６ａにより熱回収した給水３と凝縮水は、燃焼器兼熱交換器４に供給することで、同一熱量を限り無く繰り返し使用を可能にして、燃料燃焼質量を最低に低減すると共に、膨大な温熱を需要家に供給可能にし、非常に安価な電力を供給すると共に、温熱の需要拡大を図り、不要な温熱量のみ海水温度等に変換します。

【００３６】

冷熱回収量を最大にしてＣＯ２等の燃焼ガス排気を０にするため、起動時のみ全動翼ガスタービンとして使用し、最大の冷熱を回収用の全動翼蒸気ガスタービンの最上流に、最適量の超臨界圧力高温水等を供給し、中流最適段に燃焼ガスを供給して、出力発生の過程で低温度最適量の水噴射し、高温水の気化爆発水蒸気や燃焼ガスを冷却して、最大量の電力を供給すると共に、低温燃焼ガスを核に全水分を凝集することで、復水器真空まで膨張を可能とします。

【００３７】

最大量の冷熱を回収して水道水等を冷却しておき、業務用家庭用クーラーに変えて冷熱水道水管を配管し、送風機等で都市部を丸ごと冷却する等とし、冷房費用を１／１０等に低減し、膨大になり過ぎる冷熱で海水を冷却する過程では、ＣＯ２等により酸素等の空気を吸引して海底に最適量を供給し、海草や魚介類を繁殖させる工夫をして海域の活性化を図り、地球温暖化を逆転して冷却します。

【００３８】

空気圧縮の過程では、全動翼圧縮機を撥水性水冷却翼８７で構成し、撥水性金属・撥水性物質の被覆・撥水性セラミックス・撥水性加工の、何れか１以上で構成の撥水性全動翼にすることで、圧縮空気を略直線蛇行的に圧縮して、水噴射手段５６から水噴射して低温圧縮空気にする過程で、撥水性水冷却翼８７と水等との間の摩擦損失を最小に近付けて、最低温度の圧縮空気を燃焼器兼熱交換器４に供給し、限りなく高圧燃焼熱交換して、燃焼ガスタービン入口温度を最低温度にします。

【００３９】

全動翼蒸気ガスタービンの燃焼ガス入口温度を最低にすることで、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けます。そして出力発生の過程でも用途により水噴射手段５６ａより水噴射して、気化爆発水蒸気温度や燃焼ガス温度を冷却し、高温水の気化爆発水蒸気速度や燃焼ガス速度を、水質量の速度重力パワーにエネルギ変換し、最適速度に減速します。

【００４０】

最適速度に減速して１００倍～５００倍仮説出力に増大し、膨張燃焼ガスによる水蒸気の冷却を僅少にして、低温燃焼ガスを核に水分を凝集する冷熱を最大にします。燃焼ガス排気温度は－２７３℃に近付け、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、自然現象と同様に雹や水滴として分別回収を可能にし、膨大な水道水等を熱交換冷却して貯蔵する過程で、燃焼ガスを水滴に溶解してＣＯ２等の排気０を可能にして、地球温暖化防止します。

【００４１】

燃焼ガス熱量出力＋燃焼ガス質量出力全部を回転出力とする場合は、全動翼蒸気ガスタービン合体機関の、全動翼蒸気ガスタービンの最上流複数の高温水溜３２ａに、燃焼器兼熱交換器４で熱交換して得た超臨界圧力等の高温水全部を、夫々の高温水加減弁７ａより燃焼ガス熱量出力として供給し、加熱高温手段１０１で加熱高温とした、砲身状の高温水噴射ノズル５９ａより噴射して、ノズル内では機関銃の弾丸のように高温水を加速し、ノズル外では散弾ロケットのように高温水を加速して、加熱高温としたノズルと高温水との間

に気化膜を設けて、摩擦損失最少で気化潜熱爆発力を最適利用し、加熱高温とした電磁加熱タービン動翼８１と高温水との間にも気化膜を設けて、摩擦損失最少の重力仕事率最大の高温水速度最適で略直線蛇行的に噴射し、機械効率を１０～２０倍に上昇します。

【００４２】

大気圧重力パワー既存蒸気タービンの１７００倍の高温水質量を最大にし、中流最適段に最低温度の燃焼ガス質量出力として供給し、一瞬高温水５ａで燃焼ガス１０を冷却し、出力発生の過程で逆転して低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、ＣＯ２等の燃焼ガスを５０倍質量等の高温水に溶解して、ＣＯ２等の排気を０にすることで、復水器真空まで出力発生を可能にし、タービン動翼面積の一部乃至大部分を、大気圧部１／１７００や真空部１／１００００等に縮小します。即ち回収熱量を高温水の気化爆発力として使用することで、合理的な回転数を可能にすると共にタービンの動翼面積も、通常設計が可能な動翼面積に縮小します。

【００４３】

有限の燃料資源を子孫にも残すため、発電用には安価微粉炭燃料の燃焼とし、燃焼灰の重力パワーにより全重力パワーを更に増大して、燃焼ガス質量発電量を増大し、有限の燃料資源を最も合理的に配分使用します。燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換して、燃焼ガス入口温度を最低にする過程を、安価微粉炭燃料の燃焼にし、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近づけて、圧縮空気保有熱量－２７３℃以上略全部を含め、既存ボイラの２倍前後の回収熱量を、超臨界圧力等の高温水に変換して使用します。

【００４４】

そして同一燃料量燃焼ガス質量発電量（既存ガスタービンの２倍落差×１０～２０倍機械効率×燃焼灰を含め２倍質量）＝（４０～８０倍燃焼ガス質量発電量）とします。そして（燃焼ガス質量発電量）＋（燃焼ガス熱量発電量）＝（既存ガスタービンの４０～８０倍燃焼ガス質量発電量）＋（既存ガスタービンの２００～５００倍燃焼ガス熱量発電量）＝（既存ガスタービンの２４０～５８０倍仮説発電量）とします。

【００４５】

輸送用機器の場合は飽和温度が１００℃前後に限定され、廃熱回収も困難のため、超臨界圧力高温水等の温度が過熱蒸気側に上昇し（同一燃料量既存ガスタービンの２０倍質量重力仕事率×５倍落差×２倍回収熱量×１０～２０倍機械効率／１０～２０）＝（１００～２００倍仮説出力）等となり、燃焼ガス質量出力（既存ガスタービンの２０～４０倍仮設出力）を含めて（既存ガスタービンの１２０～２４０倍仮設出力）等とした、各種輸送機器用の、全動翼蒸気ガスタービン合体機関として使用します。

【００４６】

各種自動車や各種船舶や各種飛行機等として、実用化の過程で全高温水重力パワーを最大にし、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けて、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して水滴等とし、１２０～２４０倍仮説出力の、燃焼ガスの２０倍質量等の水分等に、燃焼ガスを溶解して排水し、ＣＯ２等燃焼ガス排気を０に近付けます。

【００４７】

回転出力＋噴射推進力利用の場合は、回転出力用の超臨界圧力高温水等の水温が、実用的な高温水気化爆発速度とするため比較的に低温になり、噴射推進出力用の超臨界圧力高温水等の水温は、非常に大きな速度を利用可能なため過熱蒸気温度に近付きます。従って全動翼蒸気ガスタービン合体機関の空気圧縮機を駆動するため、高温水の気化爆発エネルギを回転出力の重力パワーにエネルギ変換して、２００倍出力等が容易な全動翼蒸気タービンで、主として回転出力に変換し、用途により全動翼蒸気ガスタービンを使用します。

【００４８】

通常の起動装置により全動翼蒸気タービンを含む全動翼圧縮機を駆動し、前方の空気を吸入して、燃焼器兼熱交換器４により限り無く高圧燃焼熱交換して、起動時のみ全動翼蒸気タービンを全動翼ガスタービンで使用し、バルブ制御して熱交換して得た低温燃焼ガスを、全動翼蒸気タービンの最上流に供給し、その回転出力で全動翼圧縮機を駆動し、排気速度質量を噴射推進力として、起動準備運転を継続します。

【００４９】
起動準備運転で熱交換して得た超臨界圧力高温水等の温度上昇時には、バルブ制御により燃焼ガス質量の低温燃焼ガス１０全部を、霧吹きの原理９１ｂよりバイパス噴射して、前方の空気を吸引して噴射し、その吸引力と噴射速度質量を噴射推進力とし、熱交換して得た燃焼ガス熱量の超臨界圧力高温水等を、全動翼蒸気タービンの最上流に供給し、その回転出力により全動翼空気圧縮機を駆動し、その空気吸引力と排気速度質量を噴射推進力とし、限り無く高速飛行します。
【００５０】
バルブ制御により熱交換して得た燃焼ガス全部と残りの高温水は、夫々の霧吹きの原理９１ｂと９１ａを利用してバイパス噴射し、断熱膨張ラムジエツトを遥かに越える大落差質量容積利用により、前方の空気を吸引して噴射推進し、超音速飛行を含めて超音速ジエツト機や宇宙往還親飛行機や、飛行船舶や飛行物体等を最も効率良く噴射推進し、噴射推進の過程で極低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、雹等として海上等に希薄供給し、海域を活性化する工夫をします。
【００５１】
【発明の実施の形態】
発明の実施の形態や実施例を、図面を参照して説明するが、既説明の実施形態や実施例と、その構成が略同じ部分には、同一の名称又は符号を付して、重複説明は省略し、特徴的な部分や説明不足部分は、順次追加重複説明する。又、発明の意図する所及び予想を具体的に明快に説明するため、アイディアを仮説数字で説明するが、数字に限定しません。
【００５２】
この発明により最も簡単に効率良く空気を冷却圧縮し、熱回収して低温空気として使用する燃焼器兼熱交換器４は、既に特許出願済の燃焼器兼熱交換器を、用途に合わせて選択使用します。又、極低温燃焼ガスや水等で、最も効率良く出力を発生させるため、加熱高温の電磁加熱全動翼タービン動翼８１を使用します。また燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けて、極低温燃焼ガスとしますが、－２７３℃は実用的な最低温度として使用し、－１００℃前後や－２０℃前後等－温度全部に拡大して使用します。
【００５３】
図１の全動翼蒸気タービンの第１実施例には、図２等の燃焼器兼熱交換器４により熱交換して得た、同一燃料量既存ボイラの２倍前後の回収熱量の大部分を、超臨界圧力等の高温水５ａとして高温水管６ａにより、高温水加減弁７ａを介して、全動翼蒸気タービンの最上流の高温水溜３２ａに供給し、断熱材４８ａを介して設けて、直接の電気抵抗や電磁加熱により加熱高温とする、加熱高温手段１０１により加熱高温とした、砲身状乃至末広砲身状の高温水噴射ノズル５９ａにより、高温水５ａとの間に気化膜を設けて、摩擦損失最少で気化爆発エネルギにより高温水を加速して噴射します。
【００５４】
そして高温水噴射ノズル内では高温水を機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように高温水を加速して、加熱高温の電磁加熱タービン動翼８１との間に気化膜を設け、摩擦損失最少で略直線蛇行的に噴射して、機械効率を１０～２０倍に上昇し、例えば燃焼ガス熱量出力を（既存ガスタービンの５倍落差×２倍回収熱量×２０～５０倍質量重力パワー×１０～２０倍機械効率／１０～２０）＝（２００～５００倍仮設出力）等に増大し、出力発生の過程でも用途により水噴射して、高温水気化爆発による水蒸気５を冷却して、水蒸気容積を縮小し、蒸気速度の大部分は高温水質量の速度重力パワーにエネルギ変換し、最適速度に減速して、合理的な設計が可能な回転数にします。
【００５５】
上流の一部分乃至下流の大部分は、大気圧単位容積重力パワーを、最先端蒸気タービンの１７００倍や、真空部単位容積重力パワーを１００００倍以上の、高温水質量重力パワー×速度として減速し、電磁加熱タービン動翼８１の動翼面積の一部乃至大部分を、１／１７００や１／１００００に縮小して、合理的な設計を可能な動翼面積にします。電磁加熱タービン動翼８１の動翼面積の大幅な縮小及び、全重力パワーの大幅な増大、高温水速度

の大幅な減速により、全動翼蒸気タービンの合理的設計を可能にし、低速回転の可能や小型簡単大出力にします。

【００５６】

合理的設計や低速大出力回転可能や小型簡単大出力にすることで、全動翼翼形として略直線蛇行的に噴射を可能にすると共に、電磁加熱外側タービン動翼群１９及び、電磁加熱内側タービン動翼群２０を、段落毎環状に一体鋳造８４及び全自動加工も可能にします。そして鋳造時のタービン翼等に、断熱して設けた水噴射手段５６ａの鋳込みを可能にし、外径組立環状部８５や内径組立環状部８６の接続部付近に、水噴射手段５６ａを設けて、断熱して設けた図に無い適宜の冷却手段５５の水を噴射する、電磁加熱外側タービン動翼群１９及び、電磁加熱内側タービン動翼群２０の電磁加熱タービン動翼８１とします。

【００５７】

翼間隔を拡大した全動翼翼形や全動翼翼幅や全動翼翼角度を、重力パワー増大に合わせた形状にします。そして電磁加熱外側タービン動翼群１９及び、電磁加熱内側タービン動翼群２０を、段落毎環状に一体鋳造８４及び全自動加工も可能にします。そして鋳造時の電磁加熱タービン動翼８１を、磁力線を通し易い鉄を主成分とした材料で構成し、磁力線を集めて渦電流により、電磁調理器と略同様に加熱高温にします。外側軸装置及び内側軸装置にコイル９８を設け、回転接点により通電して、電磁加熱噴口８３を含めて電磁加熱外側タービン動翼群１９及び、電磁加熱内側タービン動翼群２０に、磁力線を集めて渦電流による電気抵抗により加熱高温にし、出力発生の過程で機械効率を１０～２０倍に上昇します。

【００５８】

排気の過程では、既存復水器と略同様に設けた気化潜熱回収器６６ａの空気抽出器により、飽和温度を１００℃から復水器真空まで可能とし、飽和温度１００℃～５０℃前後については、冷却水の海水に換えて給水３で熱回収することで、凝縮水に加えて給水３も燃焼器兼熱交換器４に供給し、一部の回収熱量を限り無く繰返し使用して、燃料燃焼質量を最低に節減すると共に、加えた燃料燃焼熱量全部を温熱として回収可能なため、膨大な温熱を需要家に供給しながら需要の拡大を図り、燃料燃焼熱量の海水移転を皆無として、地球温暖化防止します。

【００５９】

図２の全動翼蒸気ガスタービン乃至、全動翼ガスタービン乃至全動翼蒸気ガスタービン合体機関は、第１実施例を含めてすべて熱量を利用するため、従来型のガスタービンが無くなります。そして起動時には超臨界圧力等の高温水５ａが皆無のため、燃焼ガス１０のみにより超臨界圧力高温水等を発生させる、全動翼ガスタービンとして使用し、図２の侭全動翼ガスタービンとして使用するか、図にない弁を設けて弁と高温水加減弁７ａの開閉制御により、燃焼ガスを高温水溜３２ａに供給して、全動翼ガスタービンとして使用します。

【００６０】

全動翼圧縮機の主要部分の、外側圧縮機動翼群１６及び内側圧縮機動翼群１７の、撥水性金属・撥水性物質の被覆・撥水性セラミックス・撥水性加工の、何れか１以上で構成の撥水性水冷却翼８７等を、図にない冷却手段５５により通水して水冷却し、その水を水噴射手段５６より水噴射して圧縮空気を直接接触冷却し、その熱を給水３で熱回収して空気容積を縮小します。撥水性水冷却翼８７で成る全動翼とすることで、翼間隔を増大した全動翼翼形として、圧縮空気を略直線蛇行的に効率よく圧縮し、水との摩擦損失最小で圧縮する、撥水性の外側圧縮機動翼群１６及び内側圧縮機動翼群１７を、段落毎圧縮機翼群を環状に一体鋳造８４とします。

【００６１】

全自動加工が可能な環状に一体鋳造８４の組立構造とし、環状鋳造組立接続部で冷却手段５５の水路を連結して、該組立接続部付近に水噴射手段５６を設けます。冷却手段５５の水路を、１以上複数又は段落全部又は段落半分の撥水性水冷却翼８７を冷却後に、水噴射手段５６より水噴射して直接空気冷却し、最も効率良く水冷却した低温空気を圧縮します

。熱回収した高温給水と低温圧縮空気により、燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換熱回収して、全動翼蒸気ガスタービン燃焼ガス入口温度を最低に低下させ、熱回収量を既存ボイラの２倍前後に増大し、低温燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けます。

【００６２】

燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換熱回収して、燃焼ガスの温度と容積の障害を最低にし、圧縮圧力を既存ガスタービンの略２倍の１０ＭＰａ以上とし、燃料燃焼質量も理論空燃比まで、同一圧縮空気量既存ガスタービンの略４倍燃焼とし、燃料燃焼熱量の消費を０以下とした、燃焼ガス質量出力を（同一圧縮空気量最低温度の燃焼ガス質量出力）＝（既存ガスタービンの２倍落差×４倍質量×１０～２０倍機械効率）＝（同一圧縮空気量既存ガスタービンの８０～１６０倍仮説出力）とし、熱効率を無限上昇として、熱力学洗脳により２０世紀に大停滞させた科学技術を、目覚めさせて蘇えらせます。

【００６３】

公害低減・地球温暖化防止が急務であり、例えば有限の燃料資源を子孫にも残すため、公知のゴミガス化燃料やゴミ微細化燃料や、燃えるもの全部を燃焼して熱回収補助使用して、超臨界圧力高温水等として高温水加減弁７ａを介して、高温水溜３２ａに供給して電力に変換します。そして該燃焼ガス空気も全動翼圧縮機で圧縮して、水噴射手段５６により直接低温空気に冷却し、燃焼器兼熱交換器４により再燃焼させて再熱回収し、通常使用乃至通常使用に合流して補助使用し、熱回収量を増大して公害低減・地球温暖化を防止します。

【００６４】

発電用には安価微粉炭燃料の燃焼も可能として、あらゆる燃料を燃焼して、燃焼器兼熱交換器４により限り無く高圧燃焼熱交換して、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、ＣＯ２等燃焼ガス排気を０にします。そして冷熱の回収量を最大にするため（全動翼蒸気タービン＋全動翼蒸気ガスタービン）として、大部分の高温水５ａは全動翼蒸気タービンで使用し、最適少量の高温水５ａを全動翼蒸気ガスタービンの最上流に供給し、中流最適段に冷却した最低温度の燃焼ガス１０を供給して、一瞬高温水で更に冷却して出力発生の過程で逆転し、全量の低温燃焼ガスを核に水分を凝集することで、冷熱の回収量を最大に増大します。

【００６５】

起動時には公知の起動装置により全動翼圧縮機を含めて駆動し、燃焼器兼熱交換器４により限り無く高圧燃焼熱交換して、最低温度の燃焼ガス１０を環状の燃焼ガス溜９より、外側軸装置の通路を介して内側軸装置の内側より、図２の中流最適段に供給して出力を発生させ、全動翼圧縮機を駆動しながら、燃焼器兼熱交換器４内で超臨界圧力高温水等を保存貯金増大し、その高温水５ａの温度上昇時に、夫々の高温水加減弁７ａを開放制御して、高温水を夫々の高温水溜３２ａに供給して、断熱して設けて加熱高温とした加熱高温手段１０１により、加熱高温とした砲身状乃至末広砲身状の高温水噴射ノズル５９ａより、高温水５ａとの間に気化膜を設けて、摩擦損失最少で気化爆発エネルギにより高温水を加速して、通常の出力を発生します。

【００６６】

出力発生の過程では摩擦損失最少として、高温水噴射ノズル内では高温水を機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように高温水を加速して、加熱高温の電磁加熱タービン動翼８１との間に気化膜を設け、摩擦損失最少で略直線蛇行的に噴射して、機械効率を１０～２０倍に上昇し、用途により水噴射して気化爆発水蒸気を冷却し、蒸気速度の一部乃至大部分を、高温水質量の速度重力パワーにエネルギ変換して減速し、最適速度に低減します。そして排気前には低温燃焼ガスの微粉炭燃焼灰等も含めて、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して雹や水滴を生成させることで、復水器真空まで膨張させて分別可能とし、ＣＯ２等の燃焼ガス排気０を可能とします。

【００６７】

分別回収した燃焼灰を含む膨大な雹や水滴は、その一部乃至全部で水道水を冷却して冷熱として貯蔵しておき、電力の副産物で製造原価が略０の安価な冷熱を需要家に供給して、

その販路を爆発させることで、既存の家庭用や業務用クーラーを全廃して、脱フロンとした地球温暖化防止すると共に、冷熱水道管を満杯して都市部等を丸ごと冷却します。

【００６８】

膨大な残りのＣＯ２や燃焼灰等を含む冷熱は別途海水を冷却して、海底にＣＯ２等の希釈した冷熱を供給する過程で、酸素等の必要物質を吸引して海中に供給し、海の生物の生態を微生物まで徹底的に研究して、微生物や魚介類や海草類や海藻類を繁殖させて、食料の増産を図ります。

【００６９】

そして燃焼ガス質量発電量を（既存ガスタービンの２倍落差×石炭灰等２倍質量×１０～２０倍機械効率）＝（既存ガスタービンの４０～８０倍燃焼ガス質量発電量）に増大して、資源の有効利用にします。そして（燃焼ガス質量発電量＋燃焼ガス熱量発電量）＝（４０～８０倍＋２００倍乃至５００倍）＝（既存ガスタービンの２４０～５８０倍全動翼蒸気ガスタービン仮説発電量）にします。

【００７０】

大気圧付近で排気する全動翼蒸気ガスタービン合体機関で、全出力を回転力で利用する自動車等の各種陸上輸送機器や、陸海空の各種機器の用途には、通常の各種燃料を燃焼して、燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換熱回収し、熱交換して得た既存ボイラの２倍前後の燃焼ガス熱量を、超臨界圧力等の高温水５ａとして、全動翼蒸気ガスタービンの最上流に供給し、中流最適段に燃焼ガス質量出力の燃焼ガス１０を供給し、出力発生の過程で用途により、低温水噴射して気化爆発水蒸気５や燃焼ガス１０を冷却し、容積を縮小して全重力パワーを増大し、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けます。

【００７１】

そして（大気圧燃焼ガス熱量出力＋燃焼ガス質量出力）＝（既存ガスタービンの５倍落差×２倍回収熱量×１０～２０倍質量重力パワー×１０～２０倍機械効率／１０～２０）＋（既存ガスタービンの２倍落差×１０～２０倍機械効率）＝（既存ガスタービンの１２０～２４０倍燃焼ガス熱量質量出力の全動翼蒸気ガスタービン合体機関仮説出力）とします。排気前には低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、水滴等を生成させて分別回収を可能にし、該水に化学物質等を混入しておき、ＣＯ２等の燃焼ガスを水に合成溶解容易にして排出し、ＣＯ２等の燃焼ガス排気を０乃至僅少にします。

【００７２】

全出力で回転力発生の全動翼蒸気ガスタービン合体機関は、排気水蒸気５の飽和温度が１００℃と高温のため、出力発生の過程で用途により、低温水噴射により水蒸気５を冷却し、水蒸気容積を縮小して、最低温度の高温水質量を増大します。そして最低温度の燃焼ガス１０を圧力に合わせて、最適中段に供給して出力を発生し、用途により低温水噴射冷却により、燃焼ガスや水蒸気容積を縮小して、排気前には蒸気速度の大部分を、高温水質量の速度パワーにエネルギ変換して最適減速し、全重力パワーや回転出力を大幅に増大します。

【００７３】

全重力パワーの大幅増大により、電磁加熱タービン動翼８１面積の大幅縮小及び、全動翼蒸気ガスタービン合体機関を小型簡単大出力・設計容易にし、水蒸気５や高温水５ａや燃焼ガス１０等を、略直線蛇行的に噴射して出力を発生する、全動翼翼形にすると共に、翼間隔を拡大して翼幅や翼形や翼角度も、重力パワー増大に合わせた形状にします。そして電磁加熱外側タービン動翼群１９及び、電磁加熱内側タービン動翼群２０を、電磁調理器と略同様に夫々にコイル９８を設けて通電し、コイル９８の磁力線を夫々に集めて、磁力線の渦電流の電気抵抗により加熱高温とした、全動翼電磁加熱タービン動翼８１と、水との間に気化膜を設けて、摩擦損失を最小にし、略直線蛇行的に噴射して出力を発生し、機械効率を１０～２０倍に上昇します。

【００７４】

図３の全動翼蒸気ガスタービン合体機関の第２実施例は、通常の起動装置による起動時には、内側軸装置の内側から燃焼ガス１０を、最適中流段に供給して出力を発生させる、全

動翼ガスタービンとして使用します。全動翼とすることで翼間隔を増大した全動翼翼形として、圧縮空気を略直線蛇行的に圧縮する、撥水性水冷却翼８７で成る、外側圧縮機動翼群１６及び内側圧縮機動翼群１７を、段落毎圧縮機翼を環状に一体鋳造８４とします。全自動加工が可能な環状に一体鋳造８４の組立構造とし、環状鋳造組立接続部で冷却手段５５の水路を連結して、該組立環状接続部付近に水噴射手段５６を設けます。

【００７５】

全動翼圧縮機の主要部分の、外側圧縮機動翼群１６及び内側圧縮機動翼群１７の撥水性水冷却翼８７等を、図にない冷却手段５５により給水３で水冷却し、その給水を水噴射手段５６より噴射して圧縮空気を直接冷却し、低温空気として容積を縮小し、最も効率良く水冷却した低温空気を圧縮します。熱回収した給水３と低温圧縮空気により、燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換熱回収して、全動翼蒸気ガスタービン燃焼ガス入口温度を最低に低下させ、同一燃料量の回収燃焼ガス熱量を、既存ボイラの２倍前後の熱回収量の、超臨界圧力等の高温水５ａにします。

【００７６】

燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換して熱回収し、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、温度と容積の障害を最低にし、圧縮空気圧力を既存ガスタービンの２倍の、１０ＭＰａ以上可能にして理論空燃比まで、既存ガスタービンの４倍前後の燃料を燃焼可能にします。該熱交換して得た従来４倍燃料全発熱量＋圧縮した空気の－２７３℃以上略全熱量を、同一燃料量既存ボイラの２倍前後の回収熱量として、超臨界圧力高温水等として回収します。

【００７７】

ＣＯ２等の燃焼ガス排気を０に近付けるため、超臨界圧力等の高温水５ａの貯蔵圧力上昇時に、高温水加減弁７ａを開放制御して通常の出力を発生し、例えば５／２５の高温水の一部を全動翼蒸気ガスタービンの最上流に供給し、中流最適段に最低温度の燃焼ガス１０全部を供給し、全動翼圧縮機を含む全動翼蒸気ガスタービンを駆動して、用途により出力を発生の過程で低温水噴射して燃焼ガス等を冷却し、水質量の速度パワーにエネルギ変換して最適減速し、低温度で燃焼ガス等を排気し、内側軸装置の中空部や外側軸装置の外周部の空気を吸引して、噴射推進する出力発生の過程で、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、ＣＯ２等の排気を水滴に封印して、ＣＯ２等の燃焼ガス排気を０に近付けます。

【００７８】

１９／２４の超臨界圧力等の高温水５ａを、既存ガスタービンの５倍落差等により、複数の高温水加減弁７ａより夫々の高温水溜３２ａに供給し、公知技術を含む複数の霧吹きの原理９１ａを利用して、加熱高温手段１０１により加熱高温として、高温水との間に気化膜を設けて摩擦損失を最少とした、砲身状乃至末広砲身状の高温水噴射ノズル５９ａより、高温水の気化爆発力により火薬爆発と同様に、ノズル内では高温水を機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では高温水を散弾ロケットのように加速して、夫々前方の空気を多段に吸引して最適速度で噴射し、空気吸引力を含めて噴射推進する夫々の特殊装置９２ａによりバイパス噴射して、用途に合わせて既存ガスタービンの１０倍噴射速度等で噴射推進します。

【００７９】

ジェット機や飛行船舶や飛行物体等を噴射推進させる過程を、直接空気質量の速度エネルギに変換し、ラムジエツトを遥かに越える高速度で最も効率良く空気を吸引し、１０倍前後噴射速度で噴射推進します。超臨界圧力等高温水５ａの貯蔵圧力上昇により、非常に安全な噴射推進にすると共に、燃料の積載量を１／１０等に低減して使用量を１／１００等に低減し、火災の発生を１／１００等に低減して、火災発生時も高温水５ａを噴射して消火容易にし、非常に安全なジェット機や飛行船舶や飛行物体等にします。

【００８０】

超臨界圧力等の高温水５ａの一部と燃焼ガス全部により、全動翼蒸気ガスタービンを駆動して全動翼圧縮機を駆動して、前方の空気を吸引して噴射推進し、大部分の高温水５ａを、公知技術を含む複数の霧吹きの原理９１ａを利用して、夫々の特殊装置９２ａにより、

ラムジェットを遥かに超える大落差でバイパス噴射し、夫々前方の空気を多段に吸引して噴射し、超臨界圧力等の高温水気化爆発エネルギによる質量速度を、直接空気質量の速度エネルギに変換して最適減速し、最適噴射速度で最も効率良く大質量噴射して、夫々の空気吸引力を加えて最適噴射推進させるものです。

【００８１】

ＣＯ２等燃焼ガス排気を０にするため、噴射推進を含む全動翼蒸気ガスタービンでは、例えば５／２４の高温水５ａの一部と、燃焼ガス１０の全部により、全動翼圧縮機を含む全動翼蒸気ガスタービンを駆動して、最低温度で燃焼ガスや高温水５ａや水蒸気５を排気し、内側軸装置の中空部や外側軸装置外周部の空気を、吸引して噴射推進する出力発生の過程で、用途により低温水噴射して低温燃焼ガスを核に凝集する水温を低下させ、ＣＯ２等排気を水滴に封印してＣＯ２等の燃焼ガス排気を０に近付け、海上等を噴射推進して水滴を供給します。

【００８２】

１９／２４前後の超臨界圧力等の高温水５ａを、既存ガスタービンの５倍落差等により、複数の高温水加減弁７ａより夫々の高温水溜３２ａに供給し、公知技術を含む複数の霧吹きの原理９１ａを利用して、加熱高温手段１０１により加熱高温として、高温水との間に気化膜を設けて摩擦損失を最少とした、高温水噴射ノズル５９ａより高温水の気化爆発力により、ノズル内では高温水を機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では高温水を散弾ロケットのように加速して、前方の空気を多段に吸引して最適速度で噴射し、空気吸引力を含めて噴射推進する夫々の特殊装置９２ａにより、用途に合わせて既存ガスタービンの１０倍噴射速度等で噴射推進します。

【００８３】

図４の全動翼蒸気ガスタービン合体機関の第３実施例も、起動時は図に無い弁を開閉制御して、燃焼ガス１０を高温水溜３２ａに供給して出力を発生させる、全動翼ガスタービンとして使用します。燃焼器兼熱交換器４の超臨界圧力高温水等の圧力上昇時に、燃焼ガス１０から高温水５ａに切り替え弁閉制御して、高温水加減弁７ａを開放制御し、超臨界圧力高温水等の一部により、全動翼圧縮機を含む全動翼蒸気タービンを駆動して、高温水や気化爆発水蒸気を排気して、空気吸入出力と噴射推進出力を発生します。

【００８４】

燃焼ガス１０全部は複数の霧吹きの原理９１ｂを利用して、夫々の特殊装置９２ｂによりバイパス噴射して、前方の空気を多段に吸引して噴射推進力にします。残りの大部分の高温水５ａは、複数の霧吹きの原理９１ａを利用して、夫々の特殊装置９２ａによりバイパス噴射して、前方の空気を多段に吸引して、ラムジエツトの１０倍等の噴射速度で噴射し、空気吸入出力と噴射推進出力で噴射推進し、夫々の出力により既存ガスタービンの１２０～２４０倍仮説出力の、ジェット機や飛行船舶や宇宙往還親飛行機等とするものです。

【００８５】

全動翼圧縮機の主要部分の、外側圧縮機動翼群１６及び内側圧縮機動翼群１７の撥水性水冷却翼８７等を、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａにより、昇圧した給水３を冷却手段５５により通水して水冷却し、その給水を水噴射手段５６より水噴射して圧縮空気を直接冷却し、その熱を回収した給水として空気容積を縮小します。全動翼とすることで翼間隔を増大した全動翼翼形として、圧縮空気を略直線蛇行的に圧縮して、最も効率良く低温空気を圧縮する撥水性水冷却翼８７で成る、外側圧縮機動翼群１６及び内側圧縮機動翼群１７を、段落毎に環状に一体鋳造８４とします。

【００８６】

全自動加工が可能な環状に一体鋳造８４の組立構造とし、環状鋳造組立接続部で冷却手段５５の水路を連結して、該組立環状接続部付近に水噴射手段５６を設けます。冷却手段５５の水路は撥水性水冷却翼８７を冷却後に、水噴射手段５６より水噴射直接接触空気冷却し、最も効率良く給水冷却して低温空気を圧縮します。熱回収した給水３と低温圧縮空気により、燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換して、既存ボイラの２倍前後の熱回収し、全動翼蒸気タービンの環状の燃焼ガス溜９の、燃焼ガス温度を用途に合わせて最

低に低下させます。
【００８７】
全動翼蒸気タービン等、動圧や反動で駆動する回転出力機関は、超臨界圧力高温水等、大きな落差や重力パワーでも合理的設計を可能にし、動圧出力を増大するため、単位重力パワーの増大を最重要とし、大気圧単位容積重力パワー最大を１７００倍に増大して、該動翼面積の一部乃至大部分を１／１７００に縮小し、合理的な全動翼の設計を可能にます。
【００８８】
熱交換して得た超臨界圧力高温水等の一部により、全動翼圧縮機を含む全動翼蒸気タービンを駆動し、高温水や気化爆発排気の水蒸気５を噴射駆動力とし、内側軸装置の中空部前方や外側軸装置の外周部前方の空気を吸引して、空気吸引力と噴射質量速度を推進力にします。燃焼ガス１０の全部及び残りの高温水５ａは、夫々の霧吹きの原理９１ｂ・９１ａを利用して、夫々の特殊装置９２ｂや９２ａによりバイパス噴射し、前方の空気を夫々多段に吸引して、夫々の速度を直接空気質量の速度エネルギに変換し、既存ガスタービンの１０倍噴射質量速度等で噴射し、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、容積の一部乃至大部分を１／１７００等に縮小し、排気騒音が１／１０等僅少な超音速旅客機等とします。
【００８９】
燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換して熱回収し、燃焼ガス取出口８８の燃焼ガス温度を最低に低下させて、既存ボイラの２倍前後の回収熱量を、超臨界圧力高温水等の回収熱量として最大に増大し、熱交換して得た（燃焼ガス熱量出力１００～２００倍出力）＋（燃焼ガス質量出力２０～４０倍出力）＝（既存ガスタービンの１２０～２４０倍仮説出力）にします。
【００９０】
超臨界圧力高温水５ａ等としてその一部を、全動翼蒸気タービンの最上流に供給し、出力発生の過程で用途により水噴射して気化爆発水蒸気を冷却し、水蒸気速度の一部分を、大気圧１７００倍単位重力パワーに変換して最適速度に減速し、最も効率良く回転出力を発生させます。そして夫々の霧吹きの原理９１ａ・９１ｂを利用して、残りの高温水５ａと燃焼ガス１０を、夫々既存ガスタービンの１０倍や５倍速度でバイパス噴射し、１００倍以上出力にする過程で、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して雹や水滴を生成し、ＣＯ２等燃焼ガス排気を０に近付けます。
【００９１】
図５の全動翼蒸気ガスタービン合体機関の第４実施例は、全動翼翼形として外側圧縮機動翼群１６及び内側圧縮機動翼群１７を、段落毎に環状に一体鋳造８４し、全自動加工が可能な組立構造とし、環状鋳造組立接続部で冷却手段５５の水路を連結して、該組立環状接続部付近に水噴射手段５６を設けます。そして全動翼圧縮機の撥水性水冷却翼８７の、段落半分又は段落全部又は段落複数を、冷却手段５５により通水して水冷却し、その水を水噴射手段５６より噴射して、圧縮空気を直接接触水冷却し、その熱を給水３で最も効率良く熱回収して、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａ等により、燃焼器兼熱交換器４に供給し、低温空気を圧縮して燃焼器兼熱交換器４に供給します。
【００９２】
熱回収した給水３と低温圧縮空気により、燃焼器兼熱交換器４で限りなく高圧燃焼熱交換熱回収して、燃焼ガス取出口８８の温度を最低に低下させ、同一燃料量既存ボイラの２倍前後の回収熱量の燃焼ガス熱量出力を、超臨界圧力高温水５ａ等として、用途によりその一部を単位重力パワーが重要な、全動翼蒸気タービンの最上流に供給し、出力発生の過程で用途により水噴射して気化爆発水蒸気を冷却し、水蒸気速度の一部分を、大気圧１７００倍単位容積重力パワーに変換して最適減速し、最も効率良く回転出力を発生させ、回転出力により全動翼圧縮機を駆動し、排気噴射出力は船舶等の浮上推進出力とします。
【００９３】
燃焼ガス１０全部及び残りの超臨界圧力高温水５ａを、夫々の霧吹きの原理９１ｃ・９１ｄを利用して、前方の水を多段に吸引して噴射し、夫々の速度を直接水の速度質量にエネルギ変換して最適減速し、最も効率良く大量の水を吸引して噴射する、夫々１以上複数の

水噴射装置９３ａ・９３ｂにより、各種高速船舶や各種高速水上移動機器を噴射推進させます。

【００９４】

燃焼ガス１０全部を夫々霧吹きの原理９１ｄを利用して、前方の水を多段に吸引して噴射し、直接水の速度質量にエネルギ変換する過程では、燃焼ガス１０が大気圧－２７３℃に近付くため、海水等を冷却してＣＯ２等の燃焼ガスを大量の海水に溶解し、海底などに冷熱として供給する過程でも、霧吹きの原理９１ｄを利用して、空気や酸素等を吸引して海中に供給し、海の生物の生態を微生物まで徹底的に研究し、微生物や魚介類や海草類や海藻類を繁殖させて、食料の増産を図り、ＣＯ２等の燃焼ガス排気を０にします。

【００９５】

図６・図７・図８・図９を参照して、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａを説明する。通常の変速や逆転を含む各種動力伝達装置は、主として歯車装置を使用している。このため、歯面に大きな荷重を含む、滑り歯面を必須とするため、潤滑油を必要とするのに加えて、摩擦熱損失も非常に大きく、高速回転を含む大動力の伝達装置には、使用不可という問題がある。

【００９６】

このため、全動翼蒸気ガスタービン合体機関を実用化するには、ころがり接触による、超高速大動力伝達装置が必須です。超高速大動力伝達装置を可能にすると共に、潤滑油も不用にするためには、歯車装置の滑り歯面を皆無に近づけた転がり接触の、水冷却した摩擦熱を回収して燃焼器兼熱交換器４に供給する、多段多数で超高圧少量送水する、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａとして使用し、互いに反対方向に回転する外側軸装置と内側軸装置を結合し、超高圧少量送水ポンプとしても使用し、熱回収して送水します。

【００９７】

このため、歯車のかみ合い高さを限りなく縮小した低凹凸４０として、転がり接触動力伝達装置とし、回転方向３５上流側及び下流側、又は上流側又は下流側に、棒磁石３３又は電磁石３４を設けます。そして磁石の強い吸引力を利用して、各種着磁摩擦車装置５１や、図にない各種磁着摩擦車装置９０や、各種内着磁摩擦車装置４９や、図にない各種内磁着摩擦車装置８９等の、すべての噛み合わせ使用を可能にします。

【００９８】

超高圧少量送水の各種送水ポンプ兼各種二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａとし、外箱９４に吸水路９５や送水路９６を設け、各種送水ポンプ９７兼用として、公知技術を含めて全面的に使用します。即ち、転がり接触に近付けて、摩擦熱損失を大幅に低減し、更に超高圧少量送水する送水ポンプ９７と兼用として自己発熱を回収する、超高速大動力を伝達する送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａや、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａや、潤滑油に換えて無公害の水冷却とし、熱回収して燃焼器兼熱交換器４側に供給して使用する、送水ポンプ９７兼用の二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４とするものです。

【００９９】

超高速大動力を伝達する、二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４とするために、転がり接触に近付けても、摩擦熱の発生を避けられません。一方全動翼蒸気ガスタービン合体機関は、超高圧少量の水や大量の熱を利用して出力を発生させるため、超高速大動力を伝達すると共に、熱回収して超高圧少量送水する送水ポンプ９７が必要です。

【０１００】

そこで各種歯車に換えて、各種着磁摩擦車３７や各種内着磁摩擦車３８や、各種磁着摩擦車３９や図にない各種内磁着摩擦車４４等を使用し、二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４として使用の過程で、回転方向上流側及び下流側又は上流側又は下流側に、棒磁石３３乃至電磁石３４を設けることで、着磁摩擦車や磁着摩擦車や内着磁摩擦車や内磁着摩擦車の、すべての組み合わせを、磁石の強い吸引力により、互いに互換して使用を可能にした、各種送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａや、各種送水ポンプ兼磁気摩擦動

力伝達装置１００ａとして使用します。
【０１０１】
着磁摩擦車３７や磁着摩擦車３９や内着磁摩擦車３８や内磁着摩擦車４４の、動力伝達面３１には低凹凸４０を設けます。低凹凸４０は噛み合い高さを限りなく低下させて、転がり接触として歯車以外の形状を可能にし、図に無いすべての噛み合う形状全部とします。歯車形低凹凸４０として具体的には、平歯車に換えて平凹凸４１車を、ハスバ歯車に換えてハスバ凹凸４２車を、ヤマバ歯車に換えてヤマバ凹凸４３車を設ける。
【０１０２】
又は図に無い平内歯車に換えて平内凹凸４１ａ車を、ハスバ内歯車に換えてハスバ内凹凸４２ａ車を、ヤマバ内歯車に換えてヤマバ内凹凸４３ａ車を設ける。そして公知の各種歯車ポンプと同様に、外箱９４や吸水路９５や送水路９６を設けて、摩擦熱を回収して超高圧少量送水する送水ポンプ９７兼用として、超高速大動力を伝達する、各種送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａや、各種送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａとして使用します。
【０１０３】
図６ａ・図６ｂの着磁摩擦車３７ａの実施例は、環筒状の強磁性材料の径方向左右に、磁極のＮ極及びＳ極を着磁して、その両側を環板状のヨーク４７で挟んで、外径方向動力伝達面３１に延長して固着します。該動力伝達面３１の外周面に低凹凸４０の平凹凸４１やハスバ凹凸４２等を設けて、夫々着磁摩擦車３７ａ・３７ａ等として、各要素を互いに互換して、着磁摩擦車３７ａ・磁着摩擦車３９や、転がり接触の着磁摩擦車装置５１とし、図７の着磁摩擦車装置５１ｃ＋９７や図９の９７＋１４と同様に外箱９４や吸水路９５や送水路９６等を設けて、各種送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａや、各種送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａとして使用します。
【０１０４】
図６ｃの着磁摩擦車３７ｂの実施例は、環筒状の強磁性材料の内径側と外径側に磁極のＮ極及びＳ極を着磁して、ヨーク４７を磁石の内周側から左右外径動力伝達面３１に延長します。該動力伝達面近傍のヨークと磁石の間に、摩擦増大手段４５を環状に設けて固着し、その外周面に低凹凸４０のヤマバ凹凸４３を設けて、夫々着磁摩擦車３７ｂ・３７ｂとして、各要素を互いに互換して磁着摩擦車３９・着磁摩擦車３７ｂや、図８の着磁摩擦車装置５１ｄ＋９７や図９の９７＋１４と同様に外箱９４や吸水路９５や送水路９６等を設けて、各種送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａや、各種送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａとして使用します。
【０１０５】
図６ｄ・図６ｅ・図６ｆの磁着摩擦車３９の実施例は、環筒状の強磁性材料の外径面の動力伝達面３１に、摩擦増大手段４５を設けます。又は動力伝達面３１のまま、その外周面に低凹凸４０の平凹凸４１又はハスバ凹凸４２又はヤマバ凹凸４３を設けて、夫々各種磁着摩擦車３９・３９等とします。図７・図８図９のように、回転方向上流側及び下流側に棒磁石３３又は電磁石３４を設けることで、夫々各要素を互いに互換して、図番の無い転がり接触の各種磁着摩擦車装置９０や、各種磁気摩擦動力伝達装置１００とします。
【０１０６】
又は図にない環筒状の強磁性材料の内径面の動力伝達面３１に、摩擦増大手段４５を設けます。又は動力伝達面３１のまま、その内周面に低凹凸４０の平凹凸４１又はハスバ凹凸４２又はヤマバ凹凸４３を設けて、夫々各種内磁着摩擦車４４・４４等とします。夫々各要素を互いに互換して、転がり接触の各種内磁着摩擦車装置８９等とし、図７や図８や図９の二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４と同様に外箱９４や多数の吸水路９５や多数の送水路９６等を設けて、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａや、送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａ等として使用します。
【０１０７】
例えば図７・図８の各種送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａの、第１実施例及び第２実施例は、着磁摩擦車装置５１ｃ・５１ｄに、既存歯車ポンプと同様に外箱９４を設

け、夫々に吸水路９５及び送水路９６を設けて、各種送水ポンプ９７を構成使用します。そして吸水路９５より給水３を供給して、各種磁気摩擦動力伝達装置１００で発生する熱を回収して、送水路９６より燃焼器兼熱交換器４側に送水します。

【０１０８】

しかし着磁摩擦車装置５１ｃ・５１ｄ等、多種多数の各種送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａにより、送水ポンプ兼用となるのと動力伝達が主力のため、回転数も変化します。そこで公知の制御装置により、１以上多数の送水路９６や吸水路９５を最適制御して、１以上多段に昇圧の過程で水噴射手段５６・５６ａに供給し、燃焼器兼熱交換器４で超臨界圧力高温水５ａ等とします。即ち１以上多数の送水ポンプ９７により、摩擦熱を回収して自己水冷却し、超高速大動力を伝達しながら超高圧少量送水する、各種送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａや、各種送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａとして使用します。

【０１０９】

例えば、図９の超高速大動力を伝達して、超高圧少量送水を可能にする、送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａは、外箱９４に多数の吸水路９５及び多数の送水路９６及び多数の着磁摩擦車３７ａ及び内着磁摩擦車３８ａ等で、多数の送水ポンプ９７が構成されるため、外箱９４も非常に複雑になります。しかし着磁摩擦車３７ａの周速度は２種類のため、同じ周速度のものを合流して、この場合は２段や多段に昇圧して圧力制御し、用途に合わせて他の送水ポンプとも組み合わせて、燃焼器兼熱交換器４側に給水します。多数の送水ポンプ９７により摩擦熱を回収して自己水冷却し、超高速大動力を伝達する、送水ポンプ９７兼用の各種二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４として使用します。

【０１１０】

図９（ａ）（ｂ）（ｃ）を参照して説明する。（ｂ）（ｃ）は夫々（ａ）のｃ－ｃ及びｄ－ｄ視図であり、互いに反対方向に回転する全動翼蒸気ガスタービン合体機関の、内側軸装置と外側軸装置の回転動力を結合する、二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４を、図９の実施例により説明する。図９（ａ）は、多数の送水ポンプ９７により摩擦熱を回収して自己水冷却し、超高速大動力を伝達する、二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４として使用します。

【０１１１】

全動翼蒸気ガスタービン合体機関の外側軸装置に固着された、磁石部４６及びヨーク４７を含む、第一主動内着磁摩擦車３８ａの回転により、機関本体に固定された外箱９４に軸支された、支軸５０の左端に固着された複数の第一従動着磁摩擦車３７ａが回転し、その回転により支軸５０の右端に固着した、複数の第二主動着磁摩擦車３７ａが回転し、その回転により内側軸装置に固着された、第二従動着磁摩擦車３７ａが回転し、互いに反対方向に回転する外側軸装置の回転力と、内側軸装置の回転力を結合して、内側軸装置又は外側軸装置より全回転出力を、又は両方より夫々回転出力を取り出し可能とします。

【０１１２】

図９（ｂ）（ｃ）は、超高速大動力の伝達と超高圧少量送水する、送水ポンプ９７兼用の二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４として使用の過程で、回転方向上流側及び下流側又は上流側又は下流側に、棒磁石３３乃至電磁石３４を設けることで、着磁摩擦車３７や磁着摩擦車３９や内着磁摩擦車３８や内磁着摩擦車４４の、すべての組み合わせを、磁石の強い吸引力により、互いに互換して使用を可能にします。外側軸装置に固着の内着磁摩擦車３８ａや、内側軸装置に固着の着磁摩擦車３７ａや、夫々に噛み合う夫々複数の着磁摩擦車３７ａを含めて、既存歯車ポンプと同様に外箱９４を設けます。

【０１１３】

そして内着磁摩擦車３８ａに噛み合う複数の着磁摩擦車３７ａの、回転方向棒磁石３３を含む上流側に送水路９６を設け、回転方向棒磁石３３を含む下流側に吸水路９５を設け、内側軸装置に固着の着磁摩擦車３７ａに噛み合う複数の着磁摩擦車３７ａの、回転方向電磁石３４を含む上流側に送水路９６を設け、回転方向電磁石３４を含む下流側に吸水路９５を設けて、送水ポンプ９７兼超高速大動力を伝達する送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動

力伝達装置１４ａを構成します。

【０１１４】

図１０により本発明による地球温暖化防止を説明する。世界の火力発電所では、例えばボイラで加熱した超臨界圧力過熱蒸気は、蒸気タービンにより断熱膨張させて、容積のみ利用して熱量を全く利用しないで、ボイラで加熱した熱量全部で海水温度を上昇する容積利用のため、超臨界圧力過熱蒸気から復水器真空まで断熱膨張させると、容積は１００００倍を超えて重力パワーが１／１００００以下となり、同一出力に１００００倍以上の動翼面積が必要なため、無茶苦茶設計による地球温暖化加速を避けられません。

【０１１５】

最も甚大な無茶苦茶は、動翼の１０～２０倍も速度エネルギを消費して、全く回転仕事をしない静翼を１／２も設けて、過熱蒸気速度を堰き止めて減速していることです。そこで熱量を有効利用するため、ガスタービン燃焼器を熱交換器と兼用して、全動翼蒸気ガスタービン燃焼器兼熱交換器４により、限り無く高圧燃焼熱交換して、燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けると、膨大な冷熱を副産物として製造原価略０で得られるのに加えて、ＣＯ２等燃焼ガス排気を０等として、同一燃料量既存ボイラの２倍前後の回収熱量を、超臨界圧力高温水等として回収して燃焼ガス熱量出力とし、燃焼ガス質量出力も大幅に増大出来ます。

【０１１６】

そこで既存ボイラの２倍前後の超臨界圧力高温水５ａ熱量を、全動翼蒸気タービンの最上流に供給し、大気圧既存再熱蒸気タービンの１７００倍重力仕事率の超臨界圧力高温水５ａを、加熱高温として高温水との間に気化膜を設けて、摩擦損失を最少としたノズル内では、気化爆発力により高温水を機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では高温水を散弾ロケットのように加速して、重力仕事率を１７００倍に近付け、燃焼ガス熱量出力＋燃焼ガス質量出力を、同一燃料量既存ガスタービンの５００倍仮説出力等に上昇します。

【０１１７】

全動翼蒸気タービンの副産物を簡略説明する、全動翼蒸気タービンでは加えた熱全部を回収利用するため、気化潜熱回収器６６ａを既存復水器と略同様に設けて、例えば飽和温度１００℃の気化熱を海水に換えて水道水で冷却し、熱回収して得た膨大な気化熱全部を、副産物の製造原価略０の温熱として水道水を１００℃近くに加熱貯蔵しておき、安価な電力と共に高温水道水として需要家に供給し、需要の爆発的拡大を図ります。そして凝縮水全部は、燃焼器兼熱交換器４に限り無く繰り返し循環供給することで、燃焼器兼熱交換器４では高温水の気化爆発エネルギの供給のみとし、燃料燃焼質量を最少に低減して、気化熱全部で海水温度を上昇していた既存技術の無茶苦茶を全廃します。

【０１１８】

全動翼蒸気ガスタービンの副産物を簡略説明する、全動翼蒸気ガスタービン燃焼器兼熱交換器４により、限り無く高圧燃焼熱交換して燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、燃焼ガス全部＋αの膨大な冷熱を回収して、副産物の製造原価略０の冷熱として水道水を冷却貯蔵しておき、安価な電力と共に低温水道水として需要家に供給し、業務用クーラーや家庭用クーラーを全廃して、都市部を丸ごと冷却する等、脱フロンにより地球温暖化防止すると共に、ＣＯ２等の燃焼ガス排気０を可能にします。

【０１１９】

図１１の各種全動翼蒸気ガスタービン合体機関の、回転力や噴射出力で駆動する、各種装置を説明する。燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、復水器真空まで断熱膨張させ、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、雹や水滴として分別回収可能にする、全動翼蒸気ガスタービン合体機関により、各種発電設備・各種熱と電気と冷熱の供給設備・各種熱と電気の供給設備等を駆動します。

【０１２０】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、大気圧まで断熱膨張させ、低温燃焼ガスを核に水分を凝集し、水滴として分別回収を可能にする、全動翼蒸気ガスタービン合体機関によ

り、各種自動車・各種車両・各種機械・各種汎用機関・各種戦車等を駆動します。
【０１２１】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、水蒸気や燃焼ガスの１以上を霧吹きの原理を利用してバイパス噴射し、大気圧まで断熱膨張させ、低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、水滴として分別可能にする、全動翼蒸気ガスタービン合体機関により、各種船舶・各種高速船舶・各種飛行機・各種艦船・各種戦闘機・各種宇宙往還親飛行機・各種超音速機・各種飛行機器等を駆動します。
【０１２２】
【発明の効果】
超臨界圧力高温水を利用するため、大気圧重力仕事率を１７００倍に近付けて、同一燃料量既存ガスタービンの５００倍仮説出力に増大する効果がある。
【０１２３】
超臨界圧力高温水を利用するため、大気圧重力仕事率を１７００倍に近付けて、動翼面積の一部乃至大部分を１／１７００に縮小して、合理的な動翼面積を設計可能にする効果がある。
【０１２４】
超臨界圧力高温水を利用するため、加熱高温手段により加熱高温とした、高温水噴射ノズルにより高温水との間に気化膜を設けて、摩擦損失最少で高温水の気化爆発力により、ノズル内では高温水を機関銃の弾丸のように加速し、ノズル外では散弾ロケットのように加速して、同一燃料量既存ガスタービンの５００倍仮説出力に増大する効果がある。
【０１２５】
電磁加熱タービン動翼８１及び電磁加熱噴口８３を、電磁加熱高温として高温水との間に気化膜を設けて、摩擦損失を僅少とするため、最も効率良く出力を発生する効果があります。
【０１２６】
電磁加熱外側タービン動翼群１９及び、電磁加熱内側タービン動翼群２０を段落毎環状に一体鋳造として、容易確実に電磁加熱高温にする効果があります。
【０１２７】
断熱して設けた水噴射手段５６ａの鋳込みにより、水噴射して燃焼ガスや気化爆発水蒸気を冷却し、単位容積質量や全質量の増大を、確実容易にする効果があります。
【０１２８】
燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けて、大きな単位重力パワーや全重力パワーにしても、電磁加熱タービン動翼等と高温水等との摩擦損失最小で、大きな出力を発生させる効果があります。
【０１２９】
低温高圧空気を燃焼器兼熱交換器で、限りなく高圧燃焼熱交換することで、理論空燃比まで燃料燃焼質量を、既存ガスタービンの４倍前後に増大し、全動翼蒸気ガスタービン合体機関の燃焼ガス入口温度や、燃焼器兼熱交換器の燃焼ガス出口温度を最低としたため、圧縮圧力を２倍前後の１０ＭＰａ以上等に、上昇可能にする効果があります。
【０１３０】
熱交換して得た燃焼ガス熱量に、圧縮空気－２７３℃以上略全部を加えて、同一燃料量既存ボイラの２倍前後の燃焼ガス熱量を、超臨界圧力高温水等として回収可能にする効果がある。
【０１３１】
超臨界圧力高温水等として、全動翼蒸気ガスタービンや全動翼蒸気タービンや、特殊装置９２ａ・９２ｂを駆動して、最も効率良く空気を吸引して噴射推進する効果があります。
【０１３２】
超臨界圧力高温水等として、全動翼蒸気ガスタービンや全動翼蒸気タービンや、水噴射装置９３ａ・９３ｂを駆動して、最も効率良く水を吸引して噴射推進する効果があります。
【０１３３】

燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付けて、全動翼蒸気ガスタービン合体機関の燃焼ガス熱量消費０以下の、同一燃料量燃焼ガス質量出力を、既存ガスタービンの２０～４０倍仮説出力に上昇する効果があります。

【０１３４】

水噴射気化爆発水蒸気や燃焼ガスを冷却して、高温水質量の速度パワーにエネルギ変換して最適減速するため、全動翼蒸気ガスタービン合体機関を、コンパクトに設計できる大きな効果があります。

【０１３５】

燃焼器兼熱交換器で限りなく高圧燃焼熱交換して、既存ボイラの２倍前後の熱回収量とすることで、電気料金を低下させて、発電所等から排出されるＣＯ２等の地球温暖化燃焼ガスを、最も効率良く回収する効果もあります。

【０１３６】

事業用クーラーや家庭用クーラーを全廃して、脱フロンによる地球温暖化防止の効果もあります。

【０１３７】

発電量を増大する程極低温燃焼ガスの増産になるため、海水を冷却すると海底にＣＯ２や窒素や酸素を供給して、海藻や魚類等を繁殖させて活性化する効果があります。金儲けのみが企業活動と感える誤りを逆転して、人類のために貢献する手法を皆で考える効果があります。

【０１３８】

各種全動翼蒸気ガスタービン合体機関の燃焼器兼熱交換器で、限りなく高圧燃焼熱交換することで、理論空燃比まで燃料燃焼質量を、既存ガスタービンの４倍前後とし、燃焼ガス入口温度を最低としたため、圧縮圧力を２倍前後の１０ＭＰａ以上を可能にする効果があります。

【０１３９】

熱交換して得た燃焼ガスや高温水の気化爆発水蒸気を水冷却し、単位重力パワーが既存蒸気タービンの大気圧１７００倍、真空部１００００倍以上の高温水質量を最大最適に増大可能にする効果があります。

【０１４０】

既存蒸気タービン過熱蒸気の大気圧部１７００倍や真空部１００００倍等の、大きな動圧により出力を発生出来る大きな効果があります。

【０１４１】

重力パワーを大気圧部１７００倍や真空部１００００倍等に増大することで、タービン動翼面積の一部乃至大部分を、１／１７００や１／１００００等に縮小して、構造を大幅に簡単に出来る大きな効果があります。

【０１４２】

既存再熱蒸気タービンの再熱や静翼を全廃して、構造を全動翼小型簡単大出力に出来る大きな効果があります。

【０１４３】

全動翼蒸気ガスタービンや、全動翼蒸気ガスタービン合体機関で出力を発生の過程で、水噴射気化爆発水蒸気や燃焼ガスを冷却して、高温水質量を増大するため、断熱膨張低温燃焼ガスを核に水分を凝集して、自然現象と同様に雹や水滴等として、膨大な水にＣＯ２等の燃焼ガスを合成溶解混合する過程で、物質を加えて無害で排出可能にする効果もあります。

【０１４４】

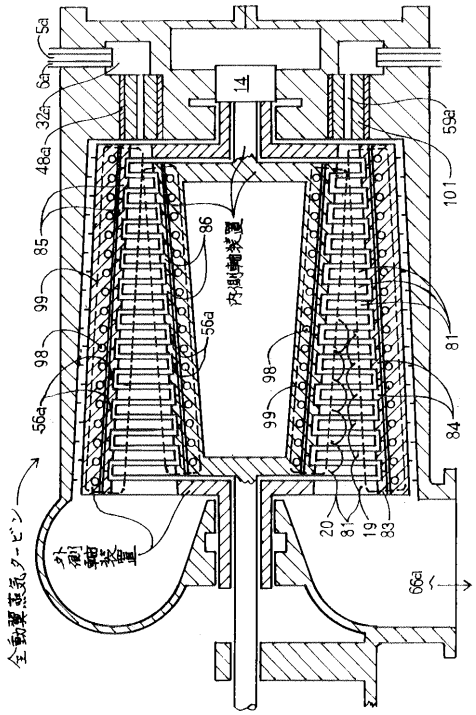
各種自動車や各種船舶や各種飛行機や、各種機械装置等から排出される、ＣＯ２等の公害燃焼ガス排気を、雹や水滴として排出して、ＣＯ２等の排気を大幅に低減する効果があります。

【図面の簡単な説明】

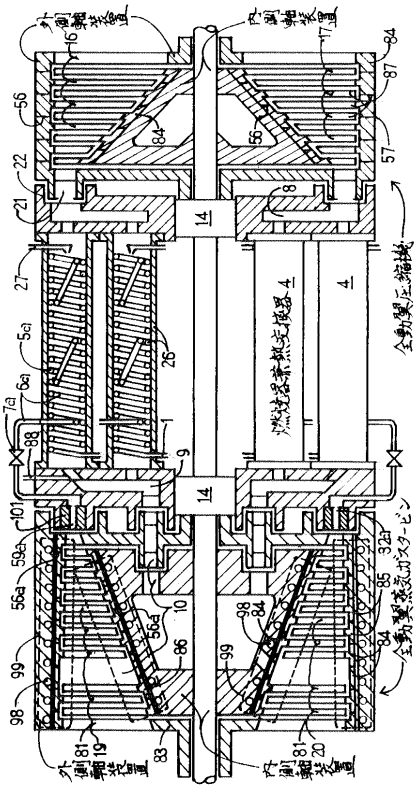
【図１】全動翼蒸気タービンの第１実施例を示す一部断面図。

【図２】全動翼蒸気ガスタービン合体機関の第１実施例を示す一部断面図。
【図３】全動翼蒸気ガスタービン合体機関の第２実施例を示す一部断面図。
【図４】全動翼蒸気ガスタービン合体機関の第３実施例を示す一部断面図。
【図５】全動翼蒸気ガスタービン合体機関の第４実施例を示す一部断面図。
【図６】着磁摩擦車及び磁着摩擦車の実施例を示す一部断面図。
【図７】送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置の第１実施例の一部断面図。
【図８】送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置の第２実施例の一部断面図。
【図９】送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置の実施例の一部断面図。
【図１０】全動翼蒸気ガスタービン合体機関で地球温暖化防止する説明図。
【図１１】全動翼蒸気ガスタービン合体機関で駆動する装置を示す説明図。
【符号の説明】
１：導水管　２：給水ポンプ　３：給水　４：燃焼器兼熱交換器　５：水蒸気　５ａ：高温水　６：蒸気管　６ａ：高温水管　７：蒸気加減弁　７ａ：高温水加減弁　８：環状の圧縮空気溜　９：環状の燃焼ガス溜
１０燃焼ガス　１１：燃料　１２：出力軸　１３：止め弁　１４：二重反転磁気摩擦動力伝達装置　１４ａ：送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置　１５：圧縮空気　１６：外側圧縮機動翼群　１７：内側圧縮機動翼群　１９：電磁加熱外側タービン動翼群　２０：電磁加熱内側タービン動翼群　２１：環状の出口　２２：環状の受け口　２３：環状の受け口
２４：環状の電磁加熱噴口群　２５：燃焼器外箱部　２６：水冷外壁
２７：燃料蒸気供給手段　２８：バイパス　３１：動力伝達面　３２：過熱蒸気溜　３２ａ：高温水溜　３３：棒磁石　３４：電磁石　３５：回転方向　３６：磁極　３７：着磁摩擦車　３８：内着磁摩擦車　３９：磁着摩擦車　４０：低凹凸　４１：平凹凸　４２：ハスバ凹凸　４３：ヤマバ凹凸　４４：内磁着摩擦車　４５：摩擦増大耐久手段　４６：磁石部　４７：ヨーク（着磁摩擦車用）　４８：絶縁材料　４８ａ：断熱材
４９ａ：内着磁摩擦車装置　４９ｂ：内着磁摩擦車装置　５０：支軸
５１ａ：着磁摩擦車装置　５１ｂ：着磁摩擦車装置　５１ｃ：着磁摩擦車装置　５１ｄ：着磁摩擦車装置　５２：水冷外壁単位　５３：鍔　５４：水冷内壁　５５：冷却手段　５６：水噴射手段　５６ａ：水噴射手段
５７：毛細管放出手段　５８：排気熱交換器　５９：過熱蒸気筒口　５９ａ：高温水噴射ノズル　６０：燃料噴口　６１：針弁　６２：燃料小穴
６３：燃料穴開閉器　６４：空気穴開閉器　６５：空気穴　６６：凝縮水熱交換器　６６ａ：気化潜熱回収器　６７：復水器　６８：凝縮水
６９：排気　７０：水道水　７１：温熱　７２：冷熱　７３：冷却水
７４：推力　８０：ヨーク　８１：電磁加熱タービン動翼　８３：電磁加熱噴口　８４：環状に一体鋳造　８５：外径組立環状部　８６：内径組立環状部　８７：撥水性水冷却翼　８８：燃焼ガス取出口　８９：内磁着摩擦車装置　９０：磁着摩擦車装置　９１ａ：霧吹きの原理　９１ｂ：霧吹きの原理　９１ｃ：霧吹きの原理　９１ｄ：霧吹きの原理　９２ａ：特殊装置　９２ｂ：特殊装置　９３ａ：水噴射装置　９３ｂ：水噴射装置
９４：外箱　９５：吸水路　９６：送水路　９７：送水ポンプ　９８：コイル　９９：磁力線　１００：磁気摩擦動力伝達装置　１００ａ：送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置　１０１：加熱高温手段

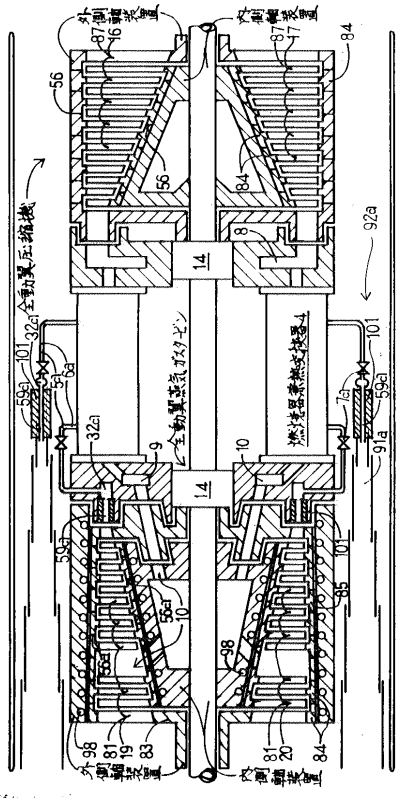
【図１】



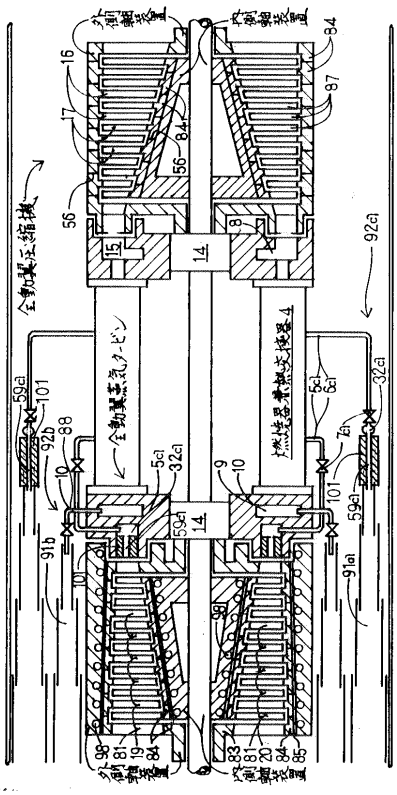
【図２】



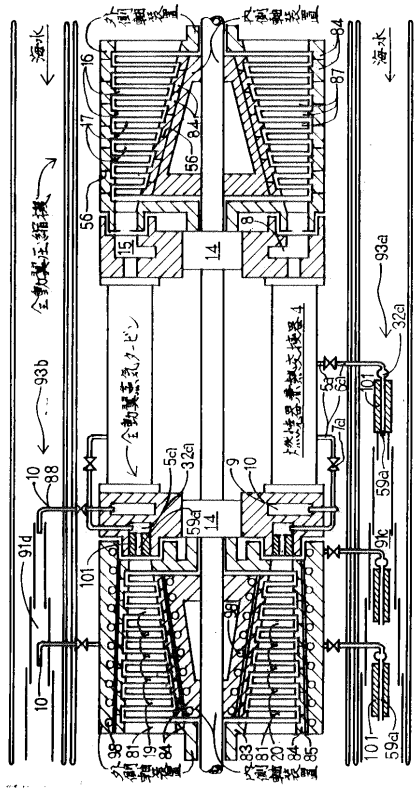
【図３】



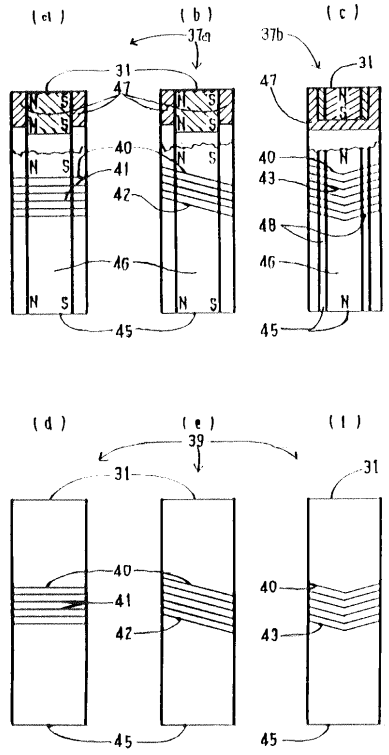
【図４】



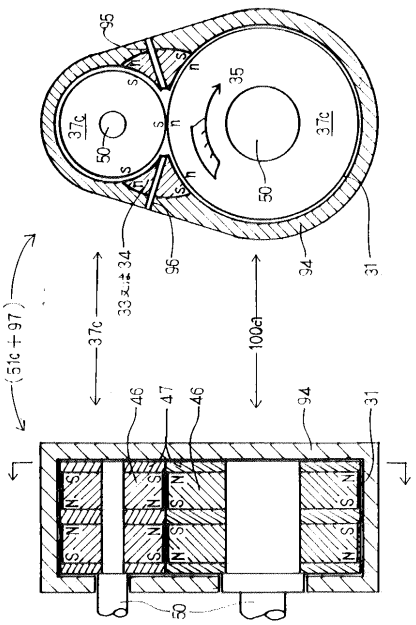
【図５】



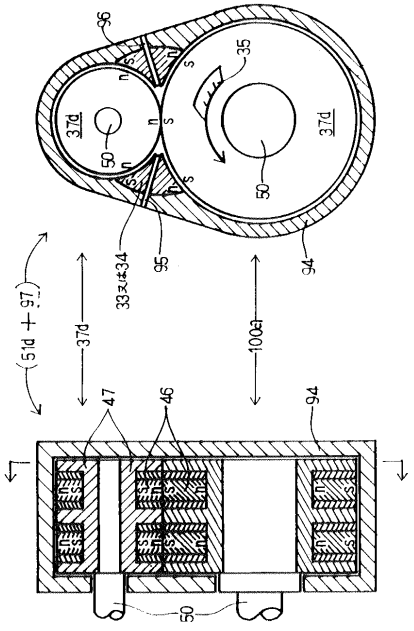
【図６】



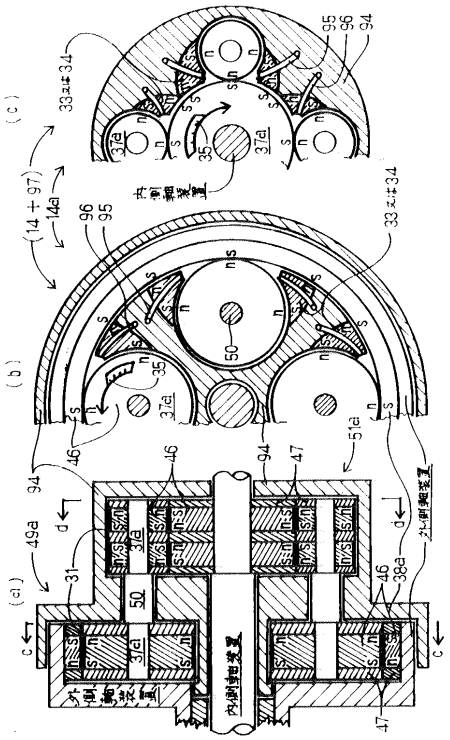
【図７】



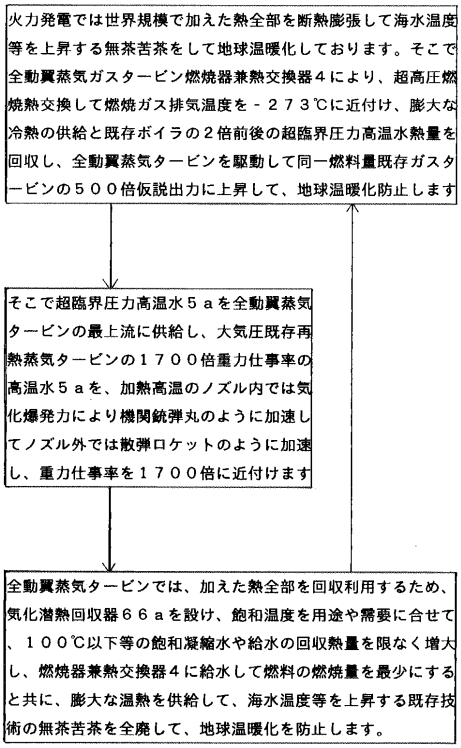
【図８】



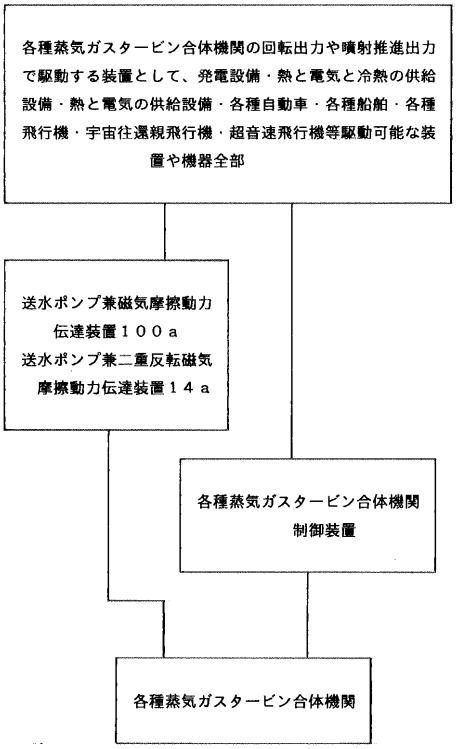
【図９】



【図１０】


火力発電では世界規模で加えた熱全部を断熱膨張して海水温度等を上昇する無茶苦茶をして地球温暖化しております。そこで全動翼蒸気ガスタービン燃焼器兼熱交換器４により、超高圧燃焼熱交換して燃焼ガス排気温度を－２７３℃に近付け、膨大な冷熱の供給と既存ボイラの２倍前後の超臨界圧力高温水熱量を回収し、全動翼蒸気タービンを駆動して同一燃料量既存ガスタービンの５００倍仮説出力に上昇して、地球温暖化防止します
そこで超臨界圧力高温水５ａを全動翼蒸気タービンの最上流に供給し、大気圧既存再熱蒸気タービンの１７００倍重力仕事率の高温水５ａを、加熱高温のノズル内では気化爆発力により機関銃弾丸のように加速してノズル外では散弾ロケットのように加速し、重力仕事率を１７００倍に近付けます
全動翼蒸気タービンでは、加えた熱全部を回収利用するため、気化潜熱回収器６６ａを設け、飽和温度を用途や需要に合せて、１００℃以下等の飽和凝縮水や給水の回収熱量を限なく増大し、燃焼器兼熱交換器４に給水して燃料の燃焼量を最少にすると共に、膨大な温熱を供給して、海水温度等を上昇する既存技術の無茶苦茶を全廃して、地球温暖化を防止します。

【図１１】


各種蒸気ガスタービン合体機関の回転出力や噴射推進出力で駆動する装置として、発電設備・熱と電気と冷熱の供給設備・熱と電気の供給設備・各種自動車・各種船舶・各種飛行機・宇宙往還親飛行機・超音速飛行機等駆動可能な装置や機器全部
送水ポンプ兼磁気摩擦動力伝達装置１００ａ
送水ポンプ兼二重反転磁気摩擦動力伝達装置１４ａ
各種蒸気ガスタービン合体機関制御装置
各種蒸気ガスタービン合体機関